

会 告 目 次

E会員新入会の特別キャンペーンの実施について	2
平成 6 年度 第36回通常総会の開催について	2
平成 6 年度各種行事の予定について	3
研究発表会開催通知	4
第54回ヒューマンインタフェース研究会	4
第39回アルゴリズム研究会	5
第16回情報メディア研究会	5
第33回情報学基礎研究会	5
第89回コンピュータビジョン研究会	6
第64回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	} 合同研究会
第65回マルチメディア通信と分散処理研究会	
第1回音声言語情報処理研究会 (新設)	7
第68回グラフィクスとCAD研究会	8
第49回情報システム研究会	8
第98回ソフトウェア工学研究会	9
第98回データベースシステム研究会	9
第22回人文科学とコンピュータ研究会	10
第32回コンピュータと教育研究会	10
第101回自然言語処理研究会	10
第6回音楽情報科学研究会	11
研究グループ」について	13
平成 6 年度 研究会のお知らせ	14
音声言語情報処理研究会」発足のお知らせ	16
平成 6 年度研究会登録申込用紙	17
平成 6 年度研究発表会開催予定	18
研究会発表申込書	20
分散システム運用技術」研究グループの新設について	21
システムインタフェース検証」研究グループ終了にあたって	21
研究会参加・発表申込方法・研究報告について	22
情報処理学会シンポジウム、講習会等論文集リスト	23
学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書頒布のお知らせ	24
学等における情報システム学の教育の在り方に関する調査研究報告書頒布のお知らせ	25
情報処理学会第49回全国大会実施要領	26
会協賛等の行事案内	31
情報処理学会第49回全国大会講演申込書	32
情報処理学会第49回全国大会講演参加費送金連絡票	33
情報処理学会「行事」・「書籍」申込書	34
情報処理学会「連続セミナー94」	35
ソフトウェアプロセス・シンポジウム」開催について	37
画像の認識・理解シンポジウム (MIRU' 94)」開催について	39
PP' 94参加者募集	43
のプログラミングシンポジウムのお知らせ	48
グラフィクスとCAD」シンポジウム論文募集	49
25回画像工学コンファレンス論文募集	50
ALL FOR PAPERS ISADS 95	51
本学術会議日より	52
会誌掲載記事の電算化について	54
会誌の広告についてお知らせとお願い	55
年度にあたって (お願い)	56
部日より	57
官 募 集	59
報	62
議 案 内	63
集 室	64
会の古い電話番号、FAX 番号を使用しないでください	65
会名を使った勧誘にご注意ください	65
平成 6 年度情報処理学会事務局組織図	66

正会員新入会の特別キャンペーンの実施について

当学会は1960年の創設以来、わが国の学術文化の発展に大きく寄与するとともに、会員数も順調にのび、1992年3月末で32,000名余となりました。しかしながら昨今の景気低迷の影響を受け、新入会員数の伸びが鈍化し、会員各位の会費に負うところが多い学会運営に少なからぬ影響を与えています。

そこで、情報処理に関する学術・技術の研究・開発を活発にしつつ社会に貢献していくため、情報処理に関心をお持ちの方の入会促進を図ることとし、正会員新入会の特別キャンペーンを実施いたします。この特別キャンペーン期間中は、できるだけ多くの方にご入会いただくため、入会金 2,000円を無料にする特典を設けました。

会員の皆様には、是非この機会にお知りあいの方に入会をお勧めくださいますようお願いいたします。

- (1) 入会申込書 学会誌「情報処理」奇数月号巻末綴込みの書式をご利用ください。
- (2) 申込み方法 入会申込書に年会費 9,600円（郵便振替をお勧めします）を添えてお申込みください。
入会金は無料です。
- (3) 申込締切日 平成6年7月末日到着分までとします。
- (4) 送付先・問合せ先

〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1

エステック情報ビル27F Tel. (03)5322-3535

社団法人 情報処理学会 会員係

なお、正会員（一括扱い会員は除く）の方には、次年度からの会費および論文誌購読費の納入方法として、「預金口座自動振替」をお勧めしております。平成7年度会費から自動振替納入を希望される方は、入会申込みの際に会員係までお知らせください。



平成6年度 第36回 通常総会の開催について

平成6年度通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に4月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

- | | |
|------|--|
| 日 時 | 平成6年5月20日（金）16:00～17:40 |
| 会 場 | 工学院大学3階312教室（東京都新宿区西新宿 1-24-2） |
| 総会次第 | <ol style="list-style-type: none">1. 会長のあいさつ2. 平成5年度事業報告および決算報告3. 平成6年度事業計画および決算審議4. 名誉会員の推挙5. 平成5年度功績賞の発表と表彰6. 平成5年度論文賞の発表と表彰7. 平成5年度 Best Author賞の発表と表彰8. 平成5年度坂井記念特別賞の発表と表彰9. 平成6年度新役員の選定10. その他 |

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ（無料）を行います（エステック情報ビル4階）。会員が一堂に会し、直接お話ができる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

平成6年度各種行事の予定について

4月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご留意ください。

(行 事)	(期 日)	(会 場)
第36回通常総会	5・20 (金)	工学院大学 (新宿)
第49回全国大会	9・28 (水) ～30 (金)	北海道大学
第50回全国大会	平成7年3月	東京
平成6年電気・情報関連学会連合大会 (共催)	8・30 (火) ～31 (水)	工学院大学

シンポジウム)

1994年並列処理	5・18 (水) ～20 (金)	筑波研究センター
ソフトウェアプロセス	5・26 (木) ～27 (金)	工学院大学
画像の認識・理解	7・13 (水) ～15 (金)	グリーンピア南阿蘇
第26回情報科学若手の会	(未 定)	(未 定)
夏のシンポジウム	7・27 (水) ～29 (金)	NTT ゆかり荘 (鎌倉市)
DA シンポジウム '94	8・25 (木) ～27 (土)	南風荘 (蒲郡市)
教育改革と情報処理教育	9・8 (木) ～9 (金)	工学院大学
変革期のソフトウェア工学	9・7 (水)	工学院大学

マルチメディア通信と高速・自律・分散・協調コンピューティング

	9・13 (火) ～14 (水)	工学院大学
グラフィクスとCAD	9・21 (水) ～22 (木)	工学院大学
通信プロトコルのテストに関するワークショップ	11・8 (火) ～10 (木)	工学院大学
コンピュータシステム	11・10 (木) ～11 (金)	工学院大学
自然言語処理	(未 定)	(未 定)
Groupware '94	11・24 (木) ～25 (金)	工学院大学
利用者指向の情報システム	12・1 (木) ～2 (金)	工学院大学
アドバンスド・データベース・システム	12・8 (木) ～9 (金)	工学院大学
Joint Workshop on Computer Communication	12・12 (月) ～14 (水)	千里 (大阪)
第36回プログラミング・シンポジウム	平成7年1・10 (火) ～12 (木)	ホテル小涌園 (箱根)
ソフトウェア工学冬のシンポジウム	平成7年 (未 定)	沖縄
情報メディアの生態系	平成7年2・16 (木) ～17 (金)	工学院大学

継続セミナー)

リエンジニアリングとライトサイジングのこれからの展開	5・12 (木)	工学院大学
新しいオペレーティングシステム技術	7・14 (木)	工学院大学
新しいユーザインタフェース技術の応用と課題	9・16 (金)	工学院大学
オブジェクト指向技術	11・17 (木)	工学院大学
新世代データベースシステム技術の展望	平成7年1・19 (木)	工学院大学
インターネットの新しい展開	平成7年3・9 (木)	工学院大学

講習会)

自然言語処理	(未 定)	(未 定)
アドバンスド・データベース・システム	12・7 (水)	工学院大学

共催)

第25回画像工学コンファレンス	12・7 (水) ～9 (金)	ABC会館ホール
情報学シンポジウム	平成7年1・11 (水) ～12 (木)	日本学術会議講堂

国際会議共催)

第47回国際情報ドキュメンテーション連盟総会国際会議	10・2 (日) ～9 (日)	大宮ソニックシティ
----------------------------	-----------------	-----------

研究発表会開催通知

(平成6年 4月15日～5月31日)

研究会名	日時		会場	詳細
グループウェア	4月28日(金)	10:00～17:00	機械振興会館	前号
ヒューマンインタフェース	5月12日(木)	11:00～17:00	生命研(つくば)	4頁
アルゴリズム	5月13日(金)	9:30～17:15	九工大	5頁
情報メディア	5月13日(金)	9:30～17:00	富士通(川崎)	5頁
情報学基礎	5月18日(水)	10:00～17:00	機械振興会館	5頁
コンピュータビジョン	5月19日(木)	13:20～17:00	静岡大	6頁
システムソフトウェアとオペレーティング・システム マルチメディア通信と分散処理	5月19日(木) 5月20日(金)	9:00～17:20 9:00～18:00	鹿児島大	6頁
音声言語情報処理	5月20日(金)	10:00～17:00	情報処理学会(新宿)	7頁
グラフィクスとCAD	5月20日(金)	11:20～17:20	工学院大	8頁
情報システム	5月20日(金) 5月21日(土)	13:30～17:00 9:30～15:40	西南学院大	8頁
ソフトウェア工学	5月25日(水)	9:30～18:00	工学院大	9頁
データベースシステム	5月27日(金)	10:00～17:15	情報大	9頁
人文科学とコンピュータ	5月27日(金)	10:00～17:00	諏訪市博物館	10頁
コンピュータと教育	5月27日(金)	13:30～17:30	情報処理学会(新宿)	10頁
自然言語処理	5月27日(金) 5月28日(土)	9:40～16:40 9:40～15:20	東工大	10頁
音楽情報科学	5月28日(土)	14:00～16:30	京都ドイツ文化センター	11頁

◆第54回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数:6件)

(主査:安西祐一郎, 幹事:井関 治, 小川克彦, 来住伸子)

日時 平成6年5月12日(木) 11:00～17:00

会場 生命工学工業技術研究所 研究第2本館 2階会議室

[つくば市東 1-1, JR(常磐線):荒川沖(東口)下車, 関東鉄道バス(筑波大学中央行, つくばセンター行):並木
2丁目下車, 徒歩7分, または東京駅(八重洲南口)より常磐高速バス(つくばセンター行):並木大橋下車, 徒歩
15分. Tel. (0298)54-6731 (森川)]

議 題

●入力インタフェース

- 11:00-12:20 -

- (1) リアリティユーザインタフェース - マルチウインドウ環境におけるオブジェクト移動法 -

齋藤 勉, 神場知成, 濱川 礼, 橋本 治 (NEC)

- (2) オンライン手書き数式認識システム「METAH」における修正と編集のインタフェース

佐藤 俊, 秋山勝彦, 中川正樹 (農工大)

- 13:50-17:00 -

●ユーザビリティ分析評価

- (3) かな漢字変換における候補判定時間の状況別分布

森川 治 (生命研), 木村 泉 (東工大)

- (4) シミュレータ対応UIテストによるユーザビリティ評価

岡田英彦, 松田良一, 旭 敏之, 井関 治 (NEC)

●感性インタフェース

- 5) 人間のあいまいな感性を反映する絵画検索システム 西山晴彦, 塩澤秀和, 松下 温 (慶大)
- 6) 人体の動作, 表情を利用した擬人化エージェントに対する考察
ーモジュール型人体動作生成とその応用についてー
呂 山, 吉坂主旬, 神谷俊之, 一色 敬, 宮井 均 (NEC)

▶第39回 アルゴリズム研究会

(発表件数:10件)

(主査:浅野哲夫, 幹事:加藤直樹, 鈴木 均, 徳山 豪)

時 平成6年5月13日(金) 9:30~17:15

場 九州工業大学 情報工学部 AV講演室

[飯塚市川津 680-4, 福岡空港, JR博多よりバス:飯塚バスセンター下車, タクシー (8分), またはJR:新飯塚下車, バス(九工大行):終点下車(約15分), Tel. (0498)29-7500]

題

ー 9:30~12:05 ー

- 1) メッシュバス上での最小全域木アルゴリズム 堀川 豊, 岩間一雄 (九大)
- 2) AIM ジェネレータによるバックトラックおよび局所探索SAT アルゴリズムの評価
朝廣雄一, 岩間一雄, 宮野英次 (九大)
- 3) 剰余演算を利用した多項式の符号判定法と計算幾何学への応用 今井敏行 (東大)
- 4) 逆探索による三角形分割の列挙とその応用 京田芳明 (東大)

ー 13:30~17:15 ー

- 5) 凸包構成における摂動法の利用 小野 剛 (東大)
- 6) 点集合の移動に関する最短経路問題について 吉田 健, 安留誠吾, 都倉信樹 (阪大)
- 7) The relation between a polygon containment problem and the problem of sorting X+Y
Antonio Hernandez Barrera (Hiroshima Univ.)
- 8) Decompositions of positive self-dual Boolean functions
J. C. Bioch (Erasmus Univ. Rotterdam), T. Ibaraki (Kyoto Univ.)
- 9) Recent Results on Approximating Independent Sets in Sparse and Bounded Degree Graphs
Magnus M. Halldorsson (北陸先端大)
- 0) SODA (ACM-SIAM Symposium on Discrete Algorithms) 報告(予稿集なし) 浅野哲夫 (大阪電通大)

第16回 情報メディア研究会

(発表件数:6件)

(主査:田中 譲, 幹事:平山智史, 牧村信之, 森本英之)

時 平成6年5月13日(金) 9:30~17:00

場 富士通 川崎工場

[川崎市中原区上小田中 1015, JR(南武線):武蔵中原下車, 徒歩1分. Tel. (044)777-1111]

題 小特集:認知科学的メディア論

ー 9:30~12:30 ー

- 1) ユーザーマニュアルにおける理解指向と操作指向 松本文隆 (富士ゼロックス)
- 2) 認知工学からみた通信メディア:対話という認知的課題 原田悦子 (法政大)
- 3) ヒトの視覚情報認知についての一考察 鬼塚武郎

ー 14:00~17:00 ー

- 4) 情報の関係と配置による擬似的概念表意 江谷典子 (富士ゼロックス情報システム)
- 5) 街のわかりやすさと環境認知 宮沢 功 (GK設計)
- 6) リアリティと道具・メディアーアフォーダンス理論からのアプローチ 佐々木正人 (東大)

昼休みには富士通技術展示室の見学が可能です。先端技術装置の見学・操作ができます。

第33回 情報学基礎研究会

(発表件数:9件)

(主査:石塚英弘, 幹事:田村貴代子, 千村浩靖, 中川 優)

時 平成6年5月18日(水) 10:00~17:00

場 機械振興会館 地下3階 2号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄:日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, またはJR:浜松町下車, バス:渋谷ー東京タワー線東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. (03)3434-8211]

議 題 特集：情報に関する基礎的アプローチ

●研究情報に関するアプローチ

－ 10:00-12:00 －

- (1) 情報史のための枠組みと歴史観 村主朋英 (愛知淑徳大)
- (2) 科学技術論文の評価における発表メディアの影響 －CSIを利用した分析 福田 理 (国会図書館)
- (3) ヒトゲノム解析とGDB(ゲノムデータベース) 諏訪秀策, 鈴木政彦, 平川美夏 (JICST), 清水信義 (慶大)

●文書に関するアプローチ

－ 13:00-17:00 －

- (4) 文章特性が異なる複数領域の原著論文の構造 神門典子 (慶大)
- (5) SGML文書構造の文法を用いた変換処理 酒井及里子 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (学情センタ)
- (6) 全文検索システムのリソースとしてのSGML方式データベース
石塚英弘 (情報大), 伊藤 卓 (横浜国大), 千原秀昭 (化情協)
根岸正光 (学情センタ), 中西敦男 (日本化学会), 田中洋一 (凸版印刷)
- (7) 抄録からのキーワードの自動抽出 原田隆史, 細野公男 (慶大), 野美山浩, 諸橋正幸 (日本IBM)
- (8) 科学文献のテキスト分析に基づく科学知識の形成過程：医学文献の分析を例として 武者小路澄子 (情報大)
- (9) 自動文書分類のための新しい確率モデル 岩山 真 (日立), 徳永健伸 (東工大)

◆第89回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：5件)

(主査：松山隆司, 幹事：井宮 淳, 谷口倫一郎, 村瀬 洋)

日 時 平成6年5月19日 (木) 13:20～17:00

会 場 静岡大学 工学部 図書館浜松分館 2階 視聴覚室

[浜松市城北 3-5-1, JR:浜松下車, バス (北側バスターミナルのりば15番, 16番全路線):工学部前下車.

Tel. (053)471-1171(ext. 503) 中谷広正 (工学部情報知識工学科)]

議 題

- (1) Gray scale morphology の画像処理応用サーベイ 山本真司 (豊橋技科大)
- (2) 時空間画像を用いたカメラの軌道制御 遠藤公誉, 田中弘一, 武川直樹 (NTT)
- (3) Robot positioning and tracking of visual appearance
Shree K. Nayar (コロンビア大), 村瀬 洋 (NTT), Saneer A. Nene (コロンビア大)
- (4) ステレオによる平面の直接的な再構成 金澤 靖 (群馬高専), 金谷健一 (群馬大)
- (5) 影からの形の復元 井宮 淳, 佐藤 哲, 市川 薫 (千葉大)

◆第64回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

◆第65回 マルチメディア通信と分散処理研究会

} 合同研究会 (発表件数：29件)

OS (主査：鈴木則久, 幹事：梅村恭治, 清木 康, 福田 晃)

DPS (主査：白鳥則郎, 幹事：鈴木健二, 滝沢 誠, 寺中勝美)

日 時 平成6年5月19日 (木) 9:00～17:20

20日 (金) 9:00～18:00

会 場 鹿児島大学 工学部 管理棟3階 会議室

[鹿児島市郡元 1-21-40, 鹿児島空港からリムジンバス (西鹿児島または鴨池新港行):西鹿児島下車 (約50分),

市電 (郡元行):工学部前下車, 徒歩3分. Tel. (0992)85-7111 (ext. 8205)]

議 題

5月19日 (木)

●プロトコル (1)

－ 9:00-10:30 －

- (1) 適応型移動体通信プロトコル 田中理恵子, 塚本昌彦 (シャープ)
- (2) Evaluation of Agreement Levels in Group Communication Protocols 立川敬行, 滝沢 誠 (電機大)
- (3) トンネリング技術の考察 出水法俊, 山口 英, 山本平一 (奈良先端大)

●プロトコル (2)

－ 10:40-11:40 －

- (4) インターネットでの障害管理のための情報交換について 上水流由香 (NTT)
- (5) 高速パケット通信網におけるTCP/IP輻輳制御の問題点 小野 論 (NTT)

●分散処理

－ 12:40-14:40 －

- (6) 分散システムにおける動的改版のためのグループ通信 (その2) 松垣博章, 平川 豊 (NTT)
- (7) フォールトトレラントタプルスペースHillary のデザイン

齋藤正史 (三菱電機), David Mankins, Noemi Paciorenk (HRI)

- h) プログラムスライシングの分散プログラムへの適用 太田 剛, 渡 辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
 i) 記述名 一名前管理の役割と基本機能 古宇田フミ子, 田中英彦 (東大)

マルチメディア (1) - 14:50~17:20 -

- 0) 実時間オペレーティングシステムにおける連続メディアファイルサーバーの実験 多田征司 (YHP)
 1) 会話型操作を伴うマルチメディアシステムにおける同期方式 矢野 司, 寺西祐人, 大野隆一, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)
 2) パケットオーディオビデオシステムのQOS 保証および交渉機構について 橋本浩二, 渡辺光輝, 柴田義孝 (東洋大)
 3) 連続メディアオブジェクトに対応したメモリ管理機構について 盛合 敏, 木原誠司, 南部 明 (NTT)
 4) マルチメディア同期機構の試作と評価 岡村耕二, 稲垣英太郎, 松尾 聡, 荒木啓二郎, 福田 晃 (奈良先端大)

月 20 日 (金)

マルチメディア (2) - 9:00~10:00 -

- 5) 映像通信ネットワークのエージェント 中村太一, 戸村元久, 菅野政孝 (NTTデータ)
 6) 周期スレッドを用いた連続/非連続メディア統合環境の試作と評価 吉川耕平, 田中裕之, 岡村耕二, 荒木啓二郎 (奈良先端大)

協調処理 - 10:10~11:40 -

- 7) グループウェアにおけるテキストベースのコミュニケーションについて 五郎丸秀樹, 宗森 純, 長澤庸二 (鹿児島大)
 8) 錯視を利用した画面設計の基礎的研究 浜島あや子, 宗森 純, 長澤庸二 (鹿児島大)
 9) 発想一貫支援グループウェア郡元の開発 宗森 純, 由井蘭隆也, 山元一永, 丸田和輝, 長澤庸二 (鹿児島大)

分散システムサービス (1) - 12:40~14:10 -

- 10) 招待講演: 鹿児島大学キャンパス情報ネットワーク 長澤庸二, 二宮公紀 (鹿児島大)
 11) ソフトウェア配布システムRSUの開発 荒川修一, 田中功一, 武田光世, 松井陽子 (三菱電機)
 12) 携帯型情報伝達装置を活用した大規模コンピュータネットワークの管理手法 大野浩之 (東工大)

分散システムサービス (2) - 14:20~15:50 -

- 13) Service Switching 技術の研究 多田信彦, 山口 英, 山本平一 (奈良先端大)
 14) ネットワーク上でのデータ分配法の経験報告 梅村恭司 (NTT)
 15) 共同利用計算機におけるファイル管理に関する一考察 金澤正憲, 平野彰雄, 赤坂浩一 (京大)

仕様記述と適合性試験 - 16:00~18:00 -

- 16) OODBMSを用いたASN.1 データベースシステムの実現 仲秋 朗, 春本 要 (阪大), 齋藤 淳 (奈良先端大), 塚本昌彦 (シャープ), 西尾章治郎 (阪大)
 17) レジスタを持つペトリネットで記述された分散システムの要求仕様から各ノードの動作仕様の導出 岡野浩三, 山口弘純, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)
 18) LOTOS の時間拡張に関する研究/標準化動向について 中野宣政 (三菱電機), 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
 19) ユーザフレンドリなテストシナリオ作成機能を持つOSI 適合性試験システム 加藤聰彦, 大岸智彦, 長谷川亨, 鈴木健二 (KDD)

19日の研究会終了後に懇親会を予定しております。多数ご参加ください。

第1回 音声言語情報処理研究会 (新設)

(発表件数: 7 件)

(主査: 中川聖一, 幹事: 岡田美智男, 小林 豊, 新田恒雄)

時 平成6年5月20日 (金) 10:00~17:00

場 情報処理学会 会議室 (新宿)

[東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル27階, JR: 新宿 (西口) 下車, 徒歩10分. Tel. (03)5322-3535]

題 特集: 音声言語情報処理の研究動向と課題 (関連の各研究分野のチュートリアルを中心に幅広く議論)

- 10:00~11:40 -

- 1) 音声言語処理の理念と課題 藤崎博也 (東理大)
 2) 頑健な自然言語処理の研究動向と課題 松本裕治 (奈良先端大)

- 12:40~17:00 -

- (3) 音声対話の言語学モデル 田窪行則 (九大)
- (4) なぜ音声認識は使われないか・どうすれば使われるか 嵯峨山茂樹 (NTT)
- (5) マルチメディアサービスとマルチモーダルUI 新田恒雄 (東芝)
- (6) 自然な発話に対するアプローチ -現状と今後の研究課題- 岡田美智男 (NTT)
- (7) 音声言語情報処理の研究課題 中川聖一 (豊橋技科大)

◆第68回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数:6件)

(主査:大野義夫, 幹事:斉藤 剛, 福井一夫, 間瀬健二)

日 時 平成6年5月20日(金) 11:20~17:20

会 場 工学院大学 11階 第8会議室

[東京都新宿区西新宿 1-24-2, JR:新宿(西口)下車, 徒歩約10分. Tel. (03)3342-1211]

議 題

- 11:20~12:40 -

- (1) ユーザの修正動作に基づき制約自動生成を行う描画システム 谷村武春, 乃万 司, 岡田直之 (九工大)

●特集: 並列グラフィクス

- (2) 並列グラフィクスアルゴリズムのサーベイ

安部 毅, 大野義夫 (慶大), 西田友是 (福山大), 近藤邦雄 (埼玉大), 中嶋正之 (東工大)

- 13:50~17:20 -

- (3) 超並列コンピュータを用いた並列CGアルゴリズムに関する研究 水谷政美, 中嶋正之 (東工大)
- (4) レイトレーシングの並列化 平田貴光, 安部 毅, 大野義夫 (慶大)
- (5) 超並列ビジュアライゼーションマシンの検討
中嶋正之 (東工大), 大野義夫 (慶大), 西田友是 (福山大), 近藤邦雄 (埼玉大), 西原清一 (筑波大)
- (6) 特別講演: 超並列コンピュータのアーキテクチャ 天野英晴 (慶大)

◆第49回 情報システム研究会

(発表件数:15件)

(主査:山本毅雄, 幹事:神田 茂, 中嶋間多, 初瀬川茂)

日 時 平成6年5月20日(金) 13:30~17:00

21日(土) 9:30~15:40

会 場 西南学院大学 本館 4階 大会議室

[福岡市早良区西新6-2-92, 市営地下鉄: 西新 (1番出口) 下車, 徒歩10分. Tel. (092)841-1311]

議 題 特集: 利用者指向の情報システム

5月20日(金)

- (1) 招待講演 (13:30~14:30): 学習アルゴリズムによる機械発見 有川節夫 (九大)
- (2) 鉄鋼の製造ラインにおけるクライアントサーバモデルの適用 紀井宣孝, 水田尚文 (ENICOM)
- (3) 層別化および可視化による情報処理システムの構築 富沢研三, 出口博章 (三菱電機)
魚田勝臣 (専修大), 田村幸子 (九州産業大)
- (4) 情報理論に基づく販売戦略システム (解釈のシステムの応用) 古閑 政 (九州東海大)
- (5) 要求分析におけるカット&ペースト法の活用 神沼靖子 (帝京技科大)
- (6) コンフリクトの展望 -CSCWと関連して- 米川 清 (熊本学園大)

5月21日(土)

- 9:30~11:50 -

- (7) 簡易注文端末を利用した新共同購入システム 林 隆春 (エフコープ生活協同組合)
- (8) マルチベンダパソコンを使用したクライアント/サーバ分散システムの適用事例
松崎伊佐雄 (九州電力), 柴田民子 (日立)
谷井利行, 森下剛靖 (ENICOM)
- (9) 製造業向けスケジューリングシステムの開発課題と施策 斉藤正弘 (NTT データ)
- (10) CS指向リエンジニアリング新支援ツールの開発 宗澤拓郎 (新潟国際情報大)
- (11) 情報システム構築の成功要因 -成功・不成功事例研究-

- 13:00~15:40 -

- (12) 特別講演 (13:00~14:00): OAのパラダイム・シフト 平田正敏 (西南学院大)
- (13) 地域圏情報誌データベース構築にかかわる情報組織化の一考察 志村尚夫, 鹿島かおり (情報大)
高沢純子 (情報大), 田中彦彦 (長崎純心大)
- (14) 情報化社会論の新視点 -情報システムをめぐる社会過程- 澤田芳郎 (愛知教育大)

- 15) パネル討論 (15:00～): 利用者指向の情報システムをめぐって 司会: 初瀬川茂 (東芝)
 ※20日の研究会終了後 (18:00～20:00), 懇親会を行います。お気軽にご参加いただき、発表者や参加者との意見交換や親睦などにご利用ください。

第98回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 12件)

(主査: 磯田定宏, 幹事: 青山幹雄, 深澤良彰, 松村一夫)

- 日 時 平成6年5月25日 (水) 9:30～18:00
 会 場 工学院大学 11階 第8会議室 (所在地は前記参照)
 議 題 特集: ソフトウェアプロセス

一般 ー 9:30～11:50 ー

- 1) プログラムスライシングによるソフトウェア部品の生成 丸山勝久, 高橋直久 (NTT)
- 2) オブジェクト指向シミュレーションモデル記述の開発支援環境
 加藤木和夫 (日立プロセスコンピュータエンジニアリング), 畠山正行 (茨城大)
- 3) 制約自然言語による要求記述の有効性評価 武内 淳, 原林利幸, 河合敦夫, 椎野 努 (三重大)
- 4) プログラム理解のための仕様記述の分析 関本理佳, 海尻賢二 (信州大)

ー 13:00～18:00 ー

ソフトウェアプロセス

- 5) ソフトウェア開発プロセスの構造 (Industrial Engineeringの立場から) 河野善弥 (埼玉大)
- 6) ソフトウェアプロセスの動的な変更部分の分析によるプロジェクト運営実践技術のモデル化とプロセス改善
 阪井 誠 (奈良先端大/SRA), 松本健一 (奈良先端大), 鳥居宏次 (阪大/奈良先端大)
- 7) オブジェクト中心型からフェーズ中心型モデルへの変換と制約回避方法の検討
 竹原昭浩, 片山卓也, 鈴木正人 (北陸先端大)
- 8) プロセス・プロダクトの関係に基づくプロセス記述・実行支援システムの設計
 上田賀一, 志村秀人, 安間その美 (茨城大)
- 9) メンバーの知見を最大限に生かすためのソフトウェア設計プロセスとその支援環境
 古宮誠一, 西野 光 (IPA)

実開発への適用と評価

- 10) ソフトウェアの信頼性に影響を及ぼす人的要因の一実験
 高橋宗雄 (桐蔭横浜大), 古宮誠一 (IPA), 三宅武司 (NTT)
 - 11) 業務分析ツールの適用評価 二本木伸佳, 山本修一郎, 安原隆一 (NTT)
 - 12) 組み込み型マイクロプロセッサ用ソフトウェアにおけるコストモデル 藤村直美 (九州芸工大)
- 26日・27日に同一場所で行われるソフトウェアプロセスシンポジウムとの連続開催です。
 今回の研究会は電子情報通信学会 (知能ソフトウェア工学研究会), 日本ソフトウェア科学会 (ソフトウェアプロセス研究会) との共催で開催されます。

第98回 データベースシステム研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 増永良文, 幹事: 石川 博, 井上 潮, 吉川正俊)

- 日 時 平成6年5月27日 (金) 10:00～17:15
 会 場 図書館情報大学 大会議室

[つくば市春日 1-2, 東京駅 (八重洲南口) より常盤高速バス (つくばセンター行): 終点下車 (約1時間), 徒歩 6分, またはJR (常盤線): 荒川沖下車 (上野より約1時間), 関東鉄道バス (筑波大学中央行): 図書館情報大学前下車 (約25分). Tel. (0298) 52-0511]

題 ー 10:00～12:00 ー

- 1) オブジェクト指向データベースにおける時間軸データモデル
 福田紀彦, 天笠俊之, 金森吉成 (群馬大), 増永良文 (情報大)
- 2) 学名コードデータベースの構築 川田真佐枝, 竹谷 勝, 梅原正道 (農水省生物研)
- 3) Toward Unification of Taxonomy Databases in a Distributed Computer Environment
 北上 始 (遺伝研), フェデレンスコット (NCBI), 館野義男, 五條堀孝 (遺伝研)

ー 13:00～17:15 ー

- 4) 空間探索のためのハッシュデータ管理 宮崎雅子 (埼玉大), 三浦孝夫 (産能大)

●小特集：ダウンサイジングとデータベース

- (5) ダウンサイジングにおけるデータベース利用の課題と対策 赤間浩樹, 石垣昭一郎 (NTT)
(6) 大型汎用計算機のデータベースとダウンサイジング 原 潔 (日本ユニシス)
(7) パネル討論：ダウンサイジングとデータベース 司会：増永良文 (情報大)

パネリスト：原 潔 (日本ユニシス), 石垣昭一郎 (NTT), 橋本省三 (JAL)
寺島哲史 (中央コーパス・アンド・ライブラント コンサルティング)

保坂清史 (アスキー)

*問合せ先 増永良文 (情報大) Tel. (0298)52-0511(ext.340) Fax. (0298)52-4326 e-mail:masunaga@ulic.ac.jp
(つくばセンターから図書館情報大学までの地図をご要望ならFax.します。)

◆第22回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数：6件)

(主査：及川昭文, 幹事：竹内 健, 長瀬真理, 八村広三郎)

日 時 平成6年5月27日 (金) 10:00~17:00

会 場 諏訪市博物館

[諏訪市中洲 171-2, JR:上諏訪下車, 諏訪バス (市内循環線, 1時間に1本):上社下車 (約20分), またはタクシー (約15分). Tel. (0266)52-7080]

議 題

— 10:00~12:30 —

- (1) 文学部におけるパソコン実習 金水 敏 (神戸大)
(2) パソコンLANと語学教育について 上村隆一 (福岡工大)
(3) 見学とデモンストレーション：諏訪市博物館展示室およびコンピュータ室

— 14:00~17:00 —

- (4) コンピュータを利用した国文学の授業の一形態 —人麻呂歌集の復元— 吉村 誠 (山口大)
(5) コンピュータを使った「英語学」の授業 丸谷満男, 稲木昭子, 高尾典史 (追手門学院大)
(6) 電子化テキストの作成と活用 沖 裕子 (信州大)
(7) ナイフ形石器の多属性分析 —長野県茶臼山遺跡出土土器を例として— 高見俊樹 (諏訪市教育委員会)

◆第32回 コンピュータと教育研究会

(発表件数：6件)

(主査：大岩 元, 幹事：石田厚子, 神津陽一, 三好和憲)

日 時 平成6年5月27日 (金) 13:30~17:30

会 場 情報処理学会 会議室 (新宿) (所在地は前記参照)

議 題

- (1) 標本化定理の概要を半日で理解に導くためのパソコンによる学生実験の改良例
古宇田フミ子, 小林恭子, 田中稲実, 加藤一弘, 渡邊廣次 (東大)
(2) Xウィンドウシステムを用いた教育支援システムの研究 川田敏則, 味岡義明 (豊田工大)
(3) 短期大学における基礎情報教育の一例 市川一夫 (県立姫路短大)
(4) 女子短大における情報処理教育の基礎を問う 水島賢太郎 (神戸女子短大)
(5) 大学における情報教育の意義と役割 —具体化の方法と情報環境の整備— 雄山真弓 (関西学院大)
(6) 高度情報化人材育成の試み 吹谷和雄 (日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会)

◆第101回 自然言語処理研究会

(発表件数：18件)

(主査：新田義彦, 幹事：丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成6年5月27日 (金) 9:40~16:40

28日 (土) 9:40~15:20

会 場 東京工業大学 100周年記念館 フェライト会議室

[東京都目黒区大岡山2-12-1, 東急大井町線, または目蒲線:大岡山下車, 正門右横のメタリックな建物の3階.
Tel. (03)3726-1111(ext.2685) 徳永健伸]

議 題

5月27日 (金)

— 9:40~12:00 —

- (1) 語の共起情報を用いた複合名詞の解析 小林義行, 山本修司, 徳永健伸, 田中穂積 (東工大)
(2) Prologプログラム変換に基づく否定情報の扱える制約システム 森 辰則, 中川裕志 (横浜国立大)

(3) 相関表現を含む英語長文の文構造解析

相馬陽一, 田添丈博, 河合敦夫, 椎野 努 (三重大), 榎井文人, 杉尾俊之 (沖電気)

(4) 話者の対象認識過程を分析する日本語パーザの基本的枠組み

沼崎浩明, 宮崎正弘 (新潟大)

- 13:00-16:40 -

(5) 翻訳困難例文の収集と分類

横山晶一 (山形大), 熊野 明 (東芝), 望月泰行 (三菱電機), 植村昌俊 (沖電気)

川越 睦 (松下電器), 時岡洋一 (インター), 安藤 進 (TCC), 田中穂積 (東工大)

(6) 翻訳困難例文の機械翻訳と評価

横山晶一 (山形大), 徳永信治 (シャープ), 亀田雅之 (リコー), 内尾淑美 (富士通)

芦崎達雄 (JICST), 野田庸男 (CSK), 相澤 弘 (十印), 中 英康 (NEC), 田中穂積 (東工大)

(7) 漢字対応の利用による日中対訳テキストの文対応付け

陳 樹霖 (シンガポール大), 長尾 真 (京大)

(8) 電子メールの文書からの関係情報の自動抽出

河合敦夫, 塚本雄之, 椎野 努 (三重大)

(9) Earleyアルゴリズムの並列化手法

中村貞吾 (九工大), 日高 達 (九大)

(10) 前向きDP後向きAアルゴリズムを用いた確率的日本語形態素解析システム

永田昌明 (NTT)

5月28日(土)

- 9:40-12:00 -

(11) コーパスからの文法の自動抽出

白井清昭, 徳永健伸, 田中穂積 (東工大)

(12) 部分文字列情報の利用による日本語単語の高速検索法

中村俊久 (富士通), 黒橋禎夫, 長尾 真 (京大)

(13) 文脈の中の隠喩 — 関連性による隠喩理解モデル —

内海 彰, 菅野道夫 (東工大)

(14) 例文からの語彙的知識獲得における類似用例を用いた多義性の類別

内元清貴, 宇津呂武仁, 長尾 真 (京大)

- 13:00-15:20 -

(15) ART を利用した多義語の分類とその評価

内田友幸, 田中英彦 (東大)

(16) 格情報を制約条件とした動詞階層化の試み

川田亮一, 大塚裕子 (計量計画研), 井佐原均 (電総研)

(17) 辞書ベースの連想記憶に基づく日常生活場面の同定

角田達彦, 田中英彦 (東大)

(18) 意味情報の主導による不適格文の処理

永松健司, 田中英彦 (東大)

◆第6回 音楽情報科学研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 嶋津武仁, 志村 哲, 鈴木 孝)

日 時 平成6年5月28日(土) 14:00~16:30

会 場 京都ドイツ文化センターホール

[京都市左京区吉田河原町 19-3, 市バス: 河原町通り荒神口下車, 川端通荒神橋上ル. Tel. (075) 761-2188]

義 題

1) Virtual Performer におけるセンサ系と音楽情報の処理

片寄晴弘, 金森 務, 長嶋洋一, 志村 哲, 井口征士 (LIST)

2) 撥音／ん／の周波数下降と高さの知覚との関係

渡辺 守, 山田真司, 中山一郎 (大阪芸大)

3) 音楽認知研究の諸問題

平賀 譲 (情報大)

※ 今回の研究会は日本音響学会 (音楽音響研究会) との共催で開催されます。

※ 研究会終了後 (18:00~19:30) 同会場にて「目と耳のための対位法 (Kontrapunkt fuer Augen und Ohren)」というコンサート形式のワークショップ (KINO VISION 主催) が開かれますので, ご参加ください。研究会参加者は入場料 1200 円 (通常は 1500 円) となります。

~~~~~

## \*\*\* 研究会発表論文募集 \*\*\*

## ▶音声言語情報処理研究会

第2回研究会は集中的な討議と情報交換を行う目的で会合形式で行います。特集に関する一般発表の他に, チュートリアル (片桐恭弘 (NTT), 馬塚れい子 (Duke Univ.)), 自由討論, ビデオによるデモンストレーションなども行う予定です。多数のご応募, ご参加をお願いします。

日 時 平成6年7月7日(木) 13:30 ~ 17:30

8日(金) 9:00 ~ 14:40

会 場 四万温泉 四万グランドホテル(群馬県吾妻郡中之条四万温泉 Tel. (0279)64-2211)

議 題 特集: 音声対話システムとその要素技術

発表申込方法 下記Ⅰ~Ⅲの発表方法を明記のうえ、研究会発表申込書の様式で下記の申込先へお申込みください。

Ⅰ.特集に関する一般発表(原稿頁数:8頁)

Ⅱ.ポジションペーパー(原稿頁数:2頁)\*自由討論での話題提供、問題提起

Ⅲ.ビデオによるデモンストレーション(音声対話システム、対話理解システムなど)

(原稿頁数:2頁、ただし一般発表に含める場合はⅠに準ずる)

発表等申込先 岡田美智男(NTT基礎研) Tel. (0462)40-3626 Fax. (0462)40-4705 e-mail:okada@atom.ntt.jp

発表申込締切 平成6年4月28日(木)

参加申込締切 平成6年6月17日(金)

\*宿泊費:13,000円(予定)(1泊3食、懇親会費込み)

#### ◆情報メディア研究会

日 時 平成6年7月8日(金) 9:30~17:00

会 場 工学院大学(予定)

議 題 特集:メディアと人工知能&人工リアリティ

発表申込締切 平成6年4月25日(月)

問合せ先 牧村信之(富士通研究所 企画調査室) Tel. (044)754-2614 Fax. (044)754-2581

#### ◆グラフィクスとCAD研究会

##### 「夏の集中研究集会 - CGと感性 -」

CGの研究には、「感性」をキーワードとする様々なテーマがあります。それらは、感性豊かな画像表現やその表現手法の追求、感情情報による画像検索や美的基準に基づく画像生成とその応用、そして感性や情諸を高める手段への利用など広範囲にわたります。

また、これらの研究におけるCG技術は、マルチメディアやVR技術との関連から、単に視覚的領域にとどまらず音声など他の感性領域を含んだ総合的な表現技術になろうとしています。そこで今回の集中研究集会は感性を核として、様々な分野におけるCG技術の新しい可能性について語りあえる場にしたいと考えます。

日 程 平成6年8月18日(木)~19日(金)

会 場 スズキ荘観月園(静岡県浜名郡舞阪町舞阪 Tel. (053)596-0808)(宿泊費:12,000円(予定))

(\*家族同伴を計画される方は、上記へ各自お申込ください。その場合、研究会へも予めその旨お知らせください。)

発表申込締切 平成6年5月31日(火)

参加者数 25名程度(原則として全員が発表を行う)

問合せ先 佐々木尚孝(岐阜県工業センター) Tel. (05838)8-3151

Fax. (05838)8-3155

千葉則茂(岩手大・工学部)

Tel. (0196)23-5171 (ext. 2656) Fax. (0196)24-4078

#### ◆データベースシステム研究会

##### 第100回 記念研究会 発表論文募集

本学会に昭和48年「データ・ベース研究会」が設立されて20余年、先人の弛まないご努力の結果、このたび第100回研究会を迎えることとなりました。つきましては、これを祝い、記念研究会を盛大に開催いたしたく存じます。データベースシステムがこれからのネットワーク情報社会においてますます重要になることは火を見るより明らかです。この第100回記念研究会で、われわれがこれまで辿ってきた道を振り返り、現状を見据え、そして将来を展望してみたいと思います。多くの皆様のご応募、ご参加をお待ちしております。

日 程 平成6年10月13日(木)・14日(金)

会 場 青山学院大学 総合研究所(東京都渋谷区渋谷 4-4-25)

議 題 10月13日(木) ●記念講演 ●パネル討論 ●招待講演ほか(終了後、懇親会(於青学会館)予定)

10月14日(金) ●一般研究発表ほか(2パラレルセッションで開催予定)

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で下記の申込み先、または事務局研究会担当までお申込みください。一般研究発表のほか製品開発やその応用に関するindustrial paperも大いに歓迎します(共に原稿頁数:8頁、発表時間:30分程度(含質疑応答))。発表にはビデオも使えるよう準備予定です。

発表申込先 増永良文(情報大) Tel. (0298)52-0511 Fax. (0298)52-4326 e-mail:masunaga@ulis.ac.jp

発表申込締切 平成6年8月5日(金)

\*ACM SIGMOD(日本支部), 画像電子学会(メディア統合技術検討委員会)共催(予定), 電子情報通信学会(データ工学研究会)協賛(予定)

\*特に申込の指定がない研究会の発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄未添付)を事務局研究会担当までご送付ください。

~~~~~

▶第5回 ドメイン分析/モデリング研究グループ研究会

(発表件数:4件)

(主査:伊藤 潔, 幹事:伊藤光恭, 杵嶋修三, 佐伯元司)

日 時 平成6年5月12日(木) 13:00~17:00

会 場 東京工業大学 南3号館 2階 201 号室(電気情報系会議室)

[東京都目黒区大岡山 2-12-1, 東急目蒲線・大井町線:大岡山下車, 徒歩約10分. Tel.(03)3726-1111]

議 題

- 1) 再利用のためのマルチレベル・ドメインモデリング —組込型ソフトウェアへの適用—
石川裕次, 松本正雄(NEC)
- 2) 仕様判定支援エキスパートシステムの開発
中山靖子(東芝)
- 3) マッピングシステムへのオブジェクト指向技術の適用に基づく知見 —オブジェクト指向手法の問題点と考察—
春木良旦(東大), 窪野哲光(東京電力)
- 4) アーキテクチャの性能設計向けドメインモデルの提案
田村恭久, 西田隆一, 伊藤 潔(上智大)

▶第14回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(発表件数:2件)

(主査:山田尚勇, 幹事:牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成6年5月19日(木) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修1号室(所在地は前記参照)

議 題

- 1) マルチメディアの著作権について
- 2) マニュアルの著作権について

参加費 研究グループ未登録者:2,000 円(研究グループ年間登録:6,000 円)

問合せ先 福島, 杉田(富士通) Tel.(044)754-2660 Fax.(044)754-2662

~~~~~

### \*\*\* 「研究グループ」について \*\*\*

確立された分野を対象とした研究会とは別に, ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか, 新しい研究分野:なり得る苗床的研究など, より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために「研究グループ」制度があります。活動期間:原則として2年, 活動援助金:10万円/年)

この制度は, 会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができ, 現在4つの研究グループが活動しております。

- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. テクニカルコミュニケーション | (主査:山田尚勇, 幹事:牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)  |
| 2. 自然言語資源の共有化     | ( " :松本裕治, " :佐野 洋, 田中裕一, 徳永健伸) |
| 3. ドメイン分析/モデリング   | ( " :伊藤 潔, " :伊藤光恭, 杵嶋修三, 佐伯元司) |
| 4. 分散システム運用技術     | ( " :石田晴久, " :岩原正吉, 箱崎勝也, 林 英輔) |

なお, 設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問い合わせください。

## 平成6年度 研究会のお知らせ

平成6年度は、下記のとおり24研究会（＊：新設1）で実施します。

| 研 究 会 名 |                          | ・主査，幹事                            | 取り扱う研究分野の例                                                                                                                                 |
|---------|--------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1       | 自然言語処理                   | ・新田 義彦<br>丹羽 芳樹<br>久光 徹宏<br>丸山 宏  | 言語理論，言語行動，言語資料・統計，言語データベース，辞書，形態素解析，統語解析，意味解析，文脈解析，対話，談話理解，音声言語処理，知識表現，機械翻訳，情報検索，自然言語処理ソフトウェア                                              |
| 2       | データベースシステム               | ・増永 良文<br>石川 博<br>井上 潮<br>吉川 正俊   | データモデル，データベース管理システム，質問処理，トランザクション管理，データベース言語，オブジェクト指向DB，マルチメディアDB，オフィスDB，エンジニアリングDB，演繹DB，データベース設計・活用，情報資源管理，情報検索システム，DBアプリケーション開発環境，DB高度応用 |
| 3       | 人工知能                     | ・中島 秀之<br>加藤 浩<br>沼尾 正行<br>橋田 浩一  | 知識表現，推論・探索，学習，認知モデル，ニューラルネット，知識ベース，エキスパートシステム，ファジィ推論，パターン・自然言語の理解，知的インタフェース，分散・協調AI，AIアーキテクチャ，その他の知能メカニズム関連研究と応用システム                       |
| 4       | 記号処理                     | ・小川 貴英<br>天海 良治<br>寺田 実<br>湯浦 克彦  | 記号（リスト，オブジェクト，プログラムなど）の処理のアーキテクチャ，計算モデル，言語，処理系，ゴミ集め，プログラミング技法，ツール，応用                                                                       |
| 5       | ソフトウェア工学                 | ・磯田 定宏<br>青山 幹雄<br>深澤 良彰<br>松村 一夫 | 要求分析，設計方法論，仕様記述，プログラミング方法論，検査・検証，ツール，開発環境，再利用，プログラム合成，開発管理，メトリックス，人的要因                                                                     |
| 6       | 計算機アーキテクチャ               | ・島田 俊夫<br>木村 康則<br>関口 智嗣<br>中島 浩  | ・計算機システム・アーキテクチャ全般<br>・ソフトウェア・システム（OS，コンパイラ，ツール）とのインタフェース<br>・並列処理アーキテクチャ<br>・VLSIアーキテクチャ                                                  |
| 7       | システムソフトウェアとオペレーティング・システム | ・鈴木 則久<br>梅村 恭治<br>清水 康晃<br>福田 晃  | 分散・並列・超並列OS，マルチメディアOS，分散マルチメディア，計算システムの性能評価，データベースOS，コンパイラ，ネットワークシステム，システム管理                                                               |
| 8       | コンピュータビジョン               | ・松山 隆司<br>井宮 淳<br>谷口倫一郎<br>村瀬 洋   | 視覚情報処理：<br>画像処理，画像理解，物体認識，3次元形状復元，ステレオ視，モーション，ロボットビジョン，視覚モデル，色彩画像処理，画像プロセッサ，画像データベースなど                                                     |
| 9       | 設計自動化                    | ・中村 行宏<br>小川 泰<br>松田 庸雄<br>安浦 寛人  | 集積回路から装置システムまで一貫した設計自動化技術：<br>エレクトロニクス用DA/CAD，HDL，論理合成，レイアウト合成，論理検証，テストなど                                                                  |
| 10      | マルチメディア通信と分散処理           | ・白鳥 則郎<br>鈴木 健二<br>滝沢 誠<br>寺中 勝美  | マルチメディアによる高度情報通信ネットワークと分散処理システム（高速通信，分散コンピューティング，マルチメディア情報通信，知的通信，プロトコル，分散協調など）                                                            |
| 11      | ヒューマンインタフェース             | ・安西祐一郎<br>井関 治<br>小川 克彦<br>来住 伸子  | 1. 計算機システムのヒューマンインタフェース 2. マルチメディアインタフェース<br>3. 協調作業のインタフェース 4. インタフェースとコミュニケーション<br>5. 文書処理のインタフェース 6. 人工現実感 7. 認知情報処理のモデル                |
| 12      | グラフィックスとCAD              | ・大野 義夫<br>斉藤 剛<br>福井 一夫<br>間瀬 健二  | CGのソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア，EWS，インタフェース，形状モデリング，アニメとアート，可視化，仮想現実感，CAD/CAM，デザイン，計算幾何学，画像生成，図面処理                                                 |

| 研 究 会 名 |                        | ・主査、幹事                           | 取り扱う研究分野の例                                                                                                                                                |
|---------|------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3       | ハイパフォーマンス<br>コンピューティング | ・野寺 隆<br>佐藤 三久<br>寒川 光<br>長嶋 雲兵  | 数値計算／シミュレーションの理論と実際（モデル化、アルゴリズム、品質保証）、<br>高速・高性能計算用アーキテクチャ・システム（超並列WS）利用技術／性能評価<br>と提言、計算と計算機を結ぶ技術（可視化、言語、データ配置、<br>最適化、デバッグツールなど）                        |
| 4       | 情報システム                 | ・山本 毅雄<br>神田 茂<br>中嶋 間多<br>初瀬川 茂 | 1. 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用<br>2. 情報ニーズ、情報・データの管理などの理論と実際<br>3. 情報システムと人間・組織・社会との相互関連                                                                        |
| 5       | プログラミング<br>—言語・基礎・実践—  | ・萩谷 昌己<br>大堀 淳<br>柴山 悦哉<br>松岡 聡  | 計算のモデルとプログラミングの基本概念、プログラミング言語と<br>その設計、プログラミング言語の実現、プログラミング工程と支援<br>環境、プログラミングのための新しい概念・方法・パラダイム                                                          |
| 6       | 情報学基礎                  | ・石塚 英弘<br>田村貴代子<br>千村 浩靖<br>中川 優 | 1. 情報の表現、識別、分類、評価、検索、流通、管理の手法<br>2. 学習と発見による大量情報の知識化、遺伝子情報<br>3. 大量のマルチメディア情報、文字情報の処理                                                                     |
| 7       | コンピュータと教育              | ・大岩 元<br>石田 厚子<br>神津 陽一<br>三好 和憲 | 1. 学校および企業における情報分野の専門技術者・研究者の育成、<br>ならびにリテラシーとしての一般的情報処理教育のためのカリキ<br>ュラム、具体的指導方法、実践例等<br>2. 知的C A Iを含む教育における計算機応用                                         |
| 8       | アルゴリズム                 | ・浅野 哲夫<br>加藤 直樹<br>鈴木 均<br>徳山 豪  | 1. グラフ、ネットワーク、V L S I などに関する離散アルゴリズム<br>2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号、符号などの数論的アルゴリズム<br>4. 確率アルゴリズム、近似アルゴリズム 5. 並列、分散アルゴリズム、ハードウェアアルゴリズム<br>6. データ構造、 7. 計算の複雑さの理論 |
| 9       | 人文科学とコンピュータ            | ・及川 昭文<br>竹内 健<br>長瀬 真理<br>八村広三郎 | 1. 人文科学、博物館・美術館への情報処理、コンピュータの応用要素と<br>実現技術 2. 人文科学系ユーザにとって柔軟なユーザ・インタフェースの実現要素と<br>技術 3. 情報処理と人文科学系間での学術的協力 4. コンピュータ、<br>情報処理の社会的側面                       |
| 10      | 情報メディア                 | ・田中 譲<br>平山 智史<br>牧村 信之<br>森本 英之 | 情報メディアの科学と工学：<br>1. 情報の生態系<br>2. メディアの電子化、映像化、メディア機械（仮想現実など）<br>3. メディアの創作、編集、表現、伝達、管理、理解のメタと環境                                                           |
| 11      | 音楽情報科学                 | ・平田 圭二<br>嶋津 武仁<br>志村 哲<br>鈴木 孝  | 計算機技術と音楽双方に関連した領域：<br>計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏、電子楽器、<br>音楽信号処理、A Iと音楽、音楽の認知・知覚・感性情報、<br>音楽情報処理システム、音楽学や音楽芸術と計算機技術                                              |
| 12      | オーディオビジュアル<br>複合情報処理   | ・富永 英義<br>二宮 佑一<br>村上 仁己<br>安田 浩 | ハイパメディアと画像情報処理：<br>1. 画像信号処理、HDTV信号・低ビットレート画像信号・システム 2. 高品質<br>音声処理・音場処理 3. メディアを相互に関連付けるハイパメディア技術<br>・システム 4. B-ISDN、マルチメディア、ハイパメディアの国際標準化               |
| 13      | グループウェア                | ・松下 温<br>岡田 謙一<br>守屋 康正<br>山上 俊彦 | 1. 協調基礎（組織、認知、社会心理、行動科学）<br>2. グループ応用（意思決定、共著／協同設計、発想、教育）<br>3. グループワークインフラ（仮想環境、グループ通信）<br>4. 分散オフィス 5. マルチU I 6. 事例研究                                   |
| 14      | * 音声言語情報処理             | ・中川 聖一<br>岡田美智男<br>小林 豊<br>新田 恒雄 | 1. 音声言語情報（音声言語の分析・合成・認識・理解・解釈・生成、<br>音声と言語の統合）<br>2. 音声言語処理システム（音声対話、音声翻訳）<br>3. 音声インタフェース・応用                                                             |

## \*新設

- ・年間を通して参加される場合は登録をお願いします。登録費は研究会ごとに毎年度見直しの上、決定します。
- ・学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして、「研究会準登録者」制度を設けております。詳細等につきましては、事務局研究会担当者までお問合せください。

## 「音声言語情報処理研究会」発足のお知らせ

### 目 的

1980年代の音声情報処理および自然言語処理などの基本技術の進展によって、音声言語によるコンピュータとのコミュニケーションを目指した音声言語情報処理の研究は、基本的な要素技術の研究から音声言語インタフェースによる問題解決システムや音声通訳システムなどのより高度で、複合的・総合的な研究フェーズに移行しつつある。さらに最近のワークステーションやパソコンの高速化とAD/DA変換器の標準装備によりソフトウェアだけで稼動する音声合成・認識システムが市販されるようになり、また、データベースや分析・認識ソフトウェアのパブリックドメイン化により従来の音声研究者以外でも音声言語情報処理への研究の参入の基盤が整いつつある。このように音声処理分野は音響信号処理から知識情報処理へと確実に新しい方向に進みつつある。

音声と言語の融合はアナログ情報とデジタル情報の統合化に関する新しいパラダイムを提供するもので、知識処理の中心テーマになりうるものである。これらの状況を踏まえ、近年、音声言語情報処理に関連した研究の重要性が認識されつつある。例えば、米国の ARPA や欧州の ESPRIT を中心とした音声言語処理プロジェクトや音声言語処理に関する国際会議（ICSLP）の開催である。日本でも、文部省の重点領域研究で継続的に取り上げられ、またATR 音声翻訳通信研究所や新情報処理開発機構、および各企業における大小のプロジェクトとして、ますます研究が活発化している。

音声言語情報処理に関する研究は、これまでも音声科学、音声情報処理、自然言語処理、計算言語学、インタフェース、認知科学、人工知能などの分野で研究がすすめられてきた。しかし、これらの技術の複合化・統合化がますます要求されるようになってきたため、このような新しい研究分野における研究討論の場の必要性から、平成3年度、本学会に「音声言語情報処理と音声入出力装置」研究グループが新設され、活動が行われてきたが、平成6年2月の研究討論会をもって活動を終了し、平成6年度からは「音声言語情報処理研究会」として発展、継続させていくことになった。本研究会は、これまでの研究グループ活動で好評であったテーマを設定した1泊2日の合宿形式の研究会を年2回計画している。その他に通常の研究会を3回開催し、「音声言語情報」をキーワードとした、音声と言語の統合、音声応用システム、音声インタフェースに関する研究発表と討論の場を設けるもので、多数の会員の参加と積極的な研究活動を期待するものである。

### 主な研究分野

- ・ 音声言語情報  
(音声言語の認識・理解・解釈および生成などの要素技術、統合アルゴリズム、統合アーキテクチャ、言語モデル、対話モデル、プロソディの生成モデル、解析アルゴリズム、データベース)
- ・ 音声言語処理システム  
(音声スポッティング、音声理解システム、音声対話システム、音声翻訳システム、発話生成システム)
- ・ 音声インタフェース (マルチモーダルインタフェース、ボイスメール、音声加工)
- ・ 音声応用 (音声による制御、語学学習、身障者支援、学習支援における音声言語処理)

### 提 案 者 (五十音順)

|              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 有木康雄 (龍谷大)   | 安達久博 (宇都宮大)  | 板橋秀一 (筑波大)   | 市川 熹 (千葉大)   |
| 岡 隆一 (RWCP)  | 岡田美智男 (NTT)  | 尾関和彦 (電通大)   | 寛 一彦 (NTT)   |
| 粕谷英樹 (宇都宮大)  | 北澤茂良 (静岡大)   | 北脇信彦 (NTT)   | 樽松 明 (電通大)   |
| 好田正紀 (山形大)   | 国分芳宏 (言語工学研) | 小林 豊 (京都工繊大) | 小原 永 (NTT)   |
| 匂坂芳典 (ATR)   | 迫江博昭 (九大)    | 鹿野清宏 (NTT)   | 島津 明 (NTT)   |
| 下平 博 (北陸先端大) | 白井克彦 (早大)    | 竹林洋一 (東芝)    | 田中和世 (電総研)   |
| 田中穂積 (東工大)   | 土屋 俊 (千葉大)   | 堂下修司 (京大)    | 中川聖一 (豊橋技科大) |
| 中島邦男 (三菱電機)  | 中島隆之 (シャープ)  | 中津良平 (NTT)   | 新田恒雄 (東芝)    |
| 新美康永 (京都工繊大) | 二矢田勝行 (松下技研) | 橋本新一郎 (セコム)  | 畑岡信夫 (日立)    |
| 広瀬啓吉 (東大)    | 藤崎博也 (東京理科大) | 古井貞熙 (NTT)   | 牧野正三 (東北大)   |
| 松本 弘 (信州大)   | 溝口理一郎 (阪大)   | 峯 恒憲 (九大)    | 柳田益造 (通信総研)  |
| 山崎泰弘 (ATR)   | 山本幹雄 (豊橋技科大) | 渡辺隆夫 (NEC)   |              |

## 新規専用

年 月 日

## 平成 6 年度 研究会 登録 申込 用 紙

会員 No. \_\_\_\_\_ フリガナ 会員氏名 \_\_\_\_\_

登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。

(円)

| 申込み<br>(英略称/コード) | 研 究 会 名                      | 登録費   | 申込み<br>(英略称/コード) | 研 究 会 名                | 登録費   |
|------------------|------------------------------|-------|------------------|------------------------|-------|
| NL-AA            | 自然言語処理                       | 5,800 | HPC-00           | ハイパフォーマンス<br>コンピューティング | 5,500 |
| DBS-BB           | データベースシステム                   | 5,000 | IS-QQ            | 情報システム                 | 5,000 |
| AI-CC            | 人工知能                         | 5,400 | PRG-RP           | プログラミング<br>—言語・基礎・実践—  | 5,600 |
| SYM-DD           | 記号処理                         | 4,400 | FI-SS            | 情報学基礎                  | 5,300 |
| SE-EE            | ソフトウェア工学                     | 5,900 | CE-TT            | コンピュータと教育              | 4,100 |
| ARC-GG           | 計算機アーキテクチャ                   | 6,000 | AL-UU            | アルゴリズム                 | 6,200 |
| OS-HH            | システムソフトウェアと<br>オペレーティング・システム | 3,500 | CH-VV            | 人文科学とコンピュータ            | 5,300 |
| CV-JJ            | コンピュータビジョン                   | 5,100 | IM-WW            | 情報メディア                 | 4,900 |
| DA-KK            | 設計自動化                        | 5,700 | MUS-XX           | 音楽情報科学                 | 4,500 |
| DPS-LL           | マルチメディア通信と<br>分散処理           | 5,600 | AVM-YY           | オーディオビジュアル<br>複合情報処理   | 4,200 |
| HI-MM            | ヒューマンインタフェース                 | 5,100 | GW-ZZ            | グループウェア                | 4,500 |
| CG-NN            | グラフィクスとCAD                   | 5,600 | SLP-AB           | *音声言語情報処理              | 4,000 |

\*新設

登録申込み \_\_\_\_\_ 件 合計金額 \_\_\_\_\_ 円 請求書 要 ( \_\_\_\_\_ 部) ・ 不要

## ※ 登録上の注意

- ・ 本申込書は新規の方のみご利用ください。(平成5年度に登録された方は使用できません。)
- ・ 登録者には、研究会開催のつど研究報告を後日郵送します。
- ・ 研究報告送付先は学会誌送付先と同様となります。  
(変更等は所定の「変更連絡届」用紙(学会誌偶数月号に添付)にて会員係までご連絡ください。)
- ・ 登録費の払込は登録手続完了後、別途発送いたします「登録費専用振替用紙」にてご送金願います。
- ・ 登録は、登録費の領収をもって正式の受付とします。

## ※ 連 絡 先

勤務先・所属名: \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ 内 ( \_\_\_\_\_ )

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階 (社) 情報処理学会 研究会係  
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

## 平成6年度研究発表会開催予定

| (研究会名/英略称)                     |  | (開催日・会場他)                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然言語処理<br>NL                   |  | 5月27日(金)・28日(土) 東工大<br>7月21日(木)・22日(金) 福井大<br>9月16日(金) 東京女子大<br>11月17日(木)・18日(金) NEC(関西)<br>1月20日(金) 東京<br>3月16日(木)・17日(金) 松下電器(飯塚)                                                                          |
| データベースシステム<br>DBS              |  | 5月27日(金) 情報大<br>◎7月20日(水) ~22日(金) 金森ホール(函館) ※100万ドルDBワークショップ<br>10月13日(木)・14日(金) 青学大 ※第100回記念研究会<br>1月27日(金) 関西<br>3月15日(水) 工学院大                                                                             |
| 人工知能<br>AI                     |  | 6月20日(月) 工学院大<br>◎7月21日(木) ~23日(土) 西武オリオンホテル(那覇) -SWoPP 琉球'94-<br>◎10月4日(火)・5日(水) ATR<br>11月15日(火) 工学院大<br>1月 立命館大<br>3月 工学院大                                                                                |
| 記号処理<br>SYM                    |  | 6月3日(金) 工学院大 (*PRG研と合同)<br>9月16日(金) 津田塾大<br>11月18日(金) 豊橋技科大<br>1月13日(金) 工学院大<br>3月24日(金) NTT(武蔵野)                                                                                                            |
| ソフトウェア工学<br>SE                 |  | ◎5月25日(水) 工学院大 ※ソフトウェアプロセス<br>7月7日(木)・8日(金) 奈良<br>◎9月8日(木) 工学院大 ※第100回記念研究会<br>◎11月18日(金) 工学院大<br>3月 上智大 ※ドメイン分析とモデリング(*ドメイン分析/モデリング研究グループと合同)                                                               |
| 計算機アーキテクチャ<br>ARC              |  | 6月13日(月) 三洋電機(東京)<br>7月21日(木) ~23日(土) 西武オリオンホテル(那覇) -SWoPP 琉球'94-<br>10月 奈良先端大<br>12月12日(月)・13日(火) 北陸先端大<br>◎1月19日(木)・20日(金) 東京 ※アーキテクチャ設計支援 (*DA研と合同)<br>3月 札幌 -HOKKE-2 - (*HPC研と合同)                        |
| システムソフトウェアとオペレーティング・システム<br>OS |  | 5月19日(木)・20日(金) 鹿児島大 ※分散マルチメディア (*DPS研と合同)<br>7月21日(木) ~23日(土) 西武オリオンホテル(那覇) -SWoPP 琉球'94-<br>9月16日(金) 工学院大<br>1月20日(金) 工学院大<br>3月24日(金) 工学院大                                                                |
| コンピュータビジョン<br>CV               |  | 5月19日(木) 静岡大<br>9月20日(火) 群馬大<br>11月24日(木) 信州大<br>1月19日(木) 龍谷大<br>3月 農工大                                                                                                                                      |
| 設計自動化<br>DA                    |  | 6月24日(金) 工学院大<br>◎10月27日(木)・28日(金) 北陸先端大<br>◎1月19日(木)・20日(金) 東京 (*ARC研と合同)<br>3月10日(金) 九大                                                                                                                    |
| マルチメディア通信と分散処理<br>DPS          |  | 5月19日(木)・20日(金) 鹿児島大 (*OS研と合同)<br>7月7日(木)・8日(金) 静岡大<br>11月18日(金) 工学院大<br>1月26日(木)・27日(金) 金沢工大 (*GW研と合同)<br>3月3日(金) 工学院大                                                                                      |
| ヒューマンインタフェース<br>HI             |  | 5月12日(木) 生命研(つくば)<br>◎7月14日(木)・15日(金) 慶大(理工) (*GW研と合同)<br>◎9月8日(木) 機械振興会館 ※福祉<br>11月10日(木) 日立関西ラボ(大阪)<br>1月19日(木) 電通大<br>3月2日(木)・3日(金) 金沢工大                                                                  |
| グラフィクスとCAD<br>CG               |  | 5月20日(金) 工学院大 ※並列処理とグラフィクス<br>◎7月8日(金) 東大 ※VRおよび一般<br>8月18日(木)・19日(金) スズキ荘観月園(静岡) ※CGと感性 -集中研究集会-<br>10月21日(金) 電総研 ※ボリュームビジュアライゼーションおよび一般<br>◎12月15日(木)・16日(金) 岡山理科大<br>2月17日(金) 工学院大 ※モデリングとインタラクティブCGおよび一般 |

(研究会名/英略称)

(開催日・会場他)

|                               |                                                                                                                                                               |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ハイパフォーマンス<br>コンピューティング<br>HPC | 6月17日(金) 慶大(理工)<br>7月21日(木) ~23日(土) 西武オリオンホテル (那覇) -SWoPP 琉球 '94-<br>10月20日(木) お茶の水女子大<br>12月14日(水) 工学院大<br>3月 札幌 -HOKKE-2 - (*ARC研と合同)                       |
| 情報システム<br>IS                  | 5月20日(金)・21日(土) 福岡 ※利用者指向の情報システム<br>7月19日(火) 工学院大 ※ISにたずさわる人材の開発・育成<br>10月18日(火) 工学院大<br>1月17日(火) 工学院大<br>3月22日(水) 東京 -若手の会-                                  |
| プログラミング<br>-言語・基礎・実践-<br>PRG  | 6月3日(金) 工学院大 (*SYM研と合同)<br>7月21日(木) ~23日(土) 西武オリオンホテル (那覇) -SWoPP 琉球 '94-<br>10月28日(金) 工学院大<br>1月27日(金) 地方<br>◎ 3月10日(金) 東京                                   |
| 情報学基礎<br>FI                   | 5月18日(水) 機振<br>7月26日(火) 九大<br>9月14日(水) 工学院大<br>11月9日(水) 工学院大                                                                                                  |
| コンピュータと教育<br>CE               | 5月27日(金) 工学院大<br>7月22日(金) 慶大(藤沢) ※入力方式<br>9月30日(金) 北大<br>11月25日(金) 工学院大 ※資格教育の問題点・課題<br>1月20日(金) 工学院大                                                         |
| アルゴリズム<br>AL                  | 5月13日(金) 九工大<br>7月22日(金) 龍谷大<br>9月21日(水)・22日(木) 群馬大(草津セミナーハウス)<br>11月24日(木)・25日(金) 東北大<br>1月23日(月) 奈良先端大<br>3月17日(金) 日本IBM (東京基礎研)                            |
| 人文科学とコンピュータ<br>CH             | 5月27日(金) 諏訪市博物館<br>9月16日(金) 東北工大<br>11月18日(金) 沖縄<br>1月27日(金) 北海道開拓記念館                                                                                         |
| 情報メディア<br>IM                  | 5月13日(金) 富士通(東京) ※認知科学的メディア論<br>7月8日(金) 工学院大 ※メディアと人工知能&人工リアリティ<br>9月9日(金) 京大 ※メディアと記述言語<br>◎ 1月12日(木)・13日(金) 東京 ※人文科学とメディア<br>3月10日(金) 情報処理学会(新宿) ※メディアと人工知能 |
| 音楽情報科学<br>MUS                 | ◎ 5月28日(土) 京都ドイツ文化センター<br>8月6日(土)・7日(日) 長野高専 -夏のシンポジウム-<br>◎ 11月19日(土)・20日(日) 沖縄芸大<br>2月上旬 NTT (厚木通研)                                                         |
| オーディオビジュアル<br>複合情報処理<br>AVM   | 6月24日(金) 早大(理工) ※MPEG2関連<br>9月9日(金) 地方<br>12月9日(金) 東京<br>3月10日(金) 早大(理工)                                                                                      |
| グループウェア<br>GW                 | 4月28日(木) 機振<br>◎ 7月14日(木)・15日(金) 慶大(理工) (*HI研と合同)<br>10月13日(木)・14日(金) 長崎大<br>1月26日(木)・27日(金) 金沢工大 (*DPS研と合同)<br>3月2日(木) 工学院大                                  |
| *新設<br>音声言語情報処理<br>SLP        | 5月20日(金) 工学院大 ※音声言語情報処理の研究動向と課題<br>7月7日(木)・8日(金) 地方 ※音声対話システムとその要素技術<br>◎ 10月21日(木) 東工大<br>◎ 12月8日(木)・9日(金) NTT (横須賀)<br>2月3日(金)・4日(土) 地方 ※音声入出力装置・インタフェース    |

注) ※: 特集(小特集)・テーマ, ◎: 他学会との共催

(平成6年3月10日現在)

SWoPP琉球'94: 1994年並列/分散/協調処理に関する「琉球」サマー・ワークショップ  
HOKKE-2: ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する「北海道」ワークショップ

◎各研究会に発表申込希望者は開催日の3ヶ月前までに研究会発表申込書を事務局研究会係までご送付ください。



## 「分散システム運用技術」研究グループの新設について

(主査：石田晴久，幹事：岩原正吉，箱崎勝也，林 英輔)

ダウンサイジングの進行やLANの普及によって、ネットワーク上に分散配置された多数のワークステーション(WS)，パソコン，大型機，LANなどを統合的に運用する技術が重要になりつつある。

本研究グループでは，従来の研究会では取り上げにくいこうした分野の現場での実用的な運用技術についての研究開発テーマを中心に検討を行う。

具体的なテーマの例としては，LANや分散システムの運用方式，協調分散処理方式，パソコンやワークステーションの集中管理方式，ソフトのライセンス管理方式，性能評価などがある。また特に参加してほしいメンバーは，大学，研究所，メーカー，ユーザ企業の計算センターや情報処理部門の関係者である。



## 「システムインタフェース検証」研究グループ終了にあたって

(主査：斎藤信男，幹事：竹中市郎，中尾成克，中原 康)

システムとアプリケーションプログラムとのインタフェース(API)およびシステム相互間のインタフェースを規定する標準仕様に対する適合性試験に関する技術的・制度的課題の研究を行うことを目的に，1991年1月に研究グループを置き，3年間活動を行ってきた。発足以来，これまでに10回程度クローズドのワークショップ形式で集中討議を行った(平均参加者数：20名)。討論してきたシステムインタフェース検証の分野は以下の通りである。

- ) オペレーティングシステム等 (・POSIX ・シグマOS ・CTRON ・MIA ・X/Open)
- ) 言語処理系 (・Pascal ・COBOL ・FORTRAN ・Ada )
- ) プロトコル (・OSI ・MAP )
- ) グラフィックパッケージ (・GKS ・CGM )
- ) マイクロプロセッサ (・トロンチップ)

当研究グループの目的の一つは，さまざまな分野で個別に行われている適合性試験を横断的に検討し，技術上および更上の検討課題を整理することであった。この点については，過去3年間のワークショップにおいて比較的広い範囲の分を対象に，適合性試験を実施する側と受検する側の双方から検討を行ってきた。発表はいずれも実体験に基づいたものであり，適合性試験の現場からの率直な声が聞かれ非常に有意義であった。

当初は研究グループとしての活動の後，研究会に発展させる予定であったが，以下の様な問題点が明らかになった。そのため現状では研究会として研究発表を行う回数を，本件に関心のあるメンバーで確保するのは難しく，研究会の設置時期尚早との意見が強く，今回をもって一応研究グループ活動を終了させることとした。

- ・ テーマが地味である。
- ・ 適合性試験は認証制度と密接に関連しているため，プロプライエタリな情報も多々有り，扱いが難しい面がある。
- ・ 米国におけるFIPSのような公的機関のIT製品購入の条件として，認証が求められることの無いわが国においては，適合性試験に対する関心を維持するのは難しい。

本研究グループの研究成果は，本誌(平成5年3月号)に解説記事「システムインタフェース検証の現状」として報告した。研究グループは解散したが，「システムインタフェース検証特集」と題して，2年後あたりに研究発表会を開催したい。

## —— 研究会参加・発表申込方法・研究報告について ——

### ○研究会参加

研究会には自由に参加できます。開催に関する詳細等は開催月前月の本欄に掲載いたします。  
(長期開催予定は2, 8月号に掲載いたします。)

#### 研究発表会当日参加について

登録会員の当該登録研究会参加 無 料

登録会員以外で研究発表会に参加の場合には

- ・会員 当日の資料代 (1, 200 ~ 3, 000円 \* ページ数により5段階)
- ・学生会員 500 円
- ・非会員 1, 000 円 + 当日の資料代

\* 年間をととして参加, 研究報告(研究発表会資料)入手希望の場合には登録をお願いします。

#### 研究会登録申込

- ・登録者には, 研究会開催のつど研究報告を後日郵送いたします。
- ・各研究会登録費につきましては, 研究会登録申込用紙(新規)(2, 4月号本欄掲載)をご参照願います。  
学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして, 「研究会準登録者」制度を設けております。詳細につきましては事務局研究会係までお問い合わせください。

### ○発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究発表会の申し込みをすることができます。

- ・希望者は所定の研究会発表申込書(学会誌2, 8月号本欄に掲載)により, 発表希望日の3ヵ月前までに事務局研究会係にお申し込みください。なお, 申込締切日は都合により若干繰り上がることがあります。
- ・原稿執筆等についての詳細は発表が決定(開催月の2ヵ月前の中旬)しましたらお知らせします。

### ○研究報告残部資料購入申込

発表年月(資料番号), 研究会名, 希望部数, 申込者氏名, 送付先, 電話番号, 郵便番号および支払方法を明記の上, 書面にて事務局研究会係までお申し込みください。その際には, あらかじめ電話等で残部の確認をお願いします。

(当年度, 前年度残部のみ頒布可。送料1冊につき270円。)

残部資料のないもののコピーサービスに関しましては, 日本科学技術情報センター(JICST)へお問い合わせください(有料)。なお, 国立国会図書館においても閲覧, コピーすることができます。

\* 日本科学技術情報センター(JICST) 〒100 東京都千代田区永田町 2-5-2 Tel. (03)3581-6411

\* 国立国会図書館 〒100 東京都千代田区永田町 1-10-1 Tel. (03)3581-2331

### ○研究報告の閲覧

閲覧希望者は, あらかじめ電話等でその旨を研究会係までお申し出のうえお越しください。

## 情報処理学会シンポジウム、講習会等論文集リスト (91,92,93,94 年版)

| コード名<br>〔シ約名〕 | 〔 論文集名 〕                   | 開催日   | 値段 (消費税、送料込) | 申込 |
|---------------|----------------------------|-------|--------------|----|
| NL            | ☆自然言語処理                    | 93・1  | ¥ 4000 (送料込) |    |
| MIC           | マイクロコンピュータアーキテクチャ          | 91・11 | ¥ 4000 (送料込) |    |
| DBS           | アドバンスト・データベースシステム          | 92・12 | ¥ 6000 (送料込) |    |
|               | アドバンスト・データベースシステム          | 93・12 | ¥ 6000 (送料込) |    |
| AI            | 知識のリフォーメーション               | 93・11 | ¥ 5000 (送料込) |    |
| ARC           | 並列処理                       | 93・5  | ¥ 5000 (送料込) |    |
| OS            | コンピュータ・システム                | 91・3  | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | コンピュータ・システム                | 92・10 | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | コンピュータ・システム                | 93・10 | ¥ 5000 (送料込) |    |
| CV            | 画像の認識・理解 I, II             | 92・7  | ¥ 8000 (送料込) |    |
| DA            | DA シンポジウム'91               | 91・8  | ¥ 4000 (送料込) |    |
|               | DA シンポジウム'92               | 92・8  | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | DA シンポジウム'93               | 93・8  | ¥ 5000 (送料込) |    |
| DPS           | B-ISDN時代におけるマルチメディア通信と分散処理 | 91・11 | ¥ 4000 (送料込) |    |
| CG            | グラフィクスとCAD                 | 91・11 | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | 研究会設立10周年記念CG作品集           | 91・11 | ¥ 5000 (送料込) |    |
| IS            | 利用者指向の情報システム               | 91・11 | ¥ 5000 (送料込) |    |
| FI            | 1992情報学                    | 92・1  | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | 1994情報学                    | 94・1  | ¥ 7000 (送料込) |    |
| CE            | コンピュータと教育                  | 93・12 | ¥ 5000 (送料込) |    |
| IM            | メディアと情報処理                  | 92・10 | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | 超編集・超流通・超管理のアーキテクチャ        | 94・2  | ¥ 5000 (送料込) |    |
| GW            | Groupware '93              | 93・7  | ¥ 4000 (送料込) |    |
| PS            | ☆第32回プログラミング               | 91・1  | ¥ 4000 (送料込) |    |
|               | 第33回プログラミング                | 92・1  | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | 新しいコンピュータティングとプログラミング      | 92・7  | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | 第34回プログラミング                | 93・1  | ¥ 5000 (送料込) |    |
|               | 第35回プログラミング                | 94・1  | ¥ 5000 (送料込) |    |
| 〔講習会〕         |                            |       |              |    |
| DBS           | アドバンスト・データベースシステム          | 92・12 | ¥ 3000 (送料込) |    |
|               | アドバンスト・データベースシステム          | 93・12 | ¥ 3000 (送料込) |    |
| AI            | 知識ベースシステムにおける高速推論技術        | 92・2  | ¥ 4000 (送料込) |    |
| SYM           | ガーベジコレクション                 | 92・11 | ¥ 4000 (送料込) |    |
| SE            | オブジェクト指向分析・設計              | 93・5  | ¥ 5000 (送料込) |    |
| ARC           | 並列アルゴリズムと並列アーキテクチャ理論と実際    | 92・6  | ¥ 4000 (送料込) |    |
| DPS           | コンピュータ通信ワークショップ            | 91・7  | ¥ 6000 (送料込) |    |
|               | マルチメディア通信と分散処理ワークショップ      | 93・3  | ¥ 4000 (送料込) |    |
|               | マルチメディア通信と分散処理ワークショップ      | 93・11 | ¥ 3000 (送料込) |    |
| Z45           | 第45回全国大会チュートリアル・セッション      | 92・10 | ¥ 3000 (送料込) |    |
| Z46           | 第46回全国大会チュートリアル・セッション      | 93・3  | ¥ 4000 (送料込) |    |

(平成6年3月3日現在)

☆在庫5冊以内です。

\*全国大会のバックナンバーもあります。

\*問い合わせ申込み先: 情報処理学会 図書係 野寺 Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

\*連絡先

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 〒       | 請求書_____通              |
| _____   | 見積書_____通              |
| _____   | 納品書_____通 合計金額 ¥ _____ |
| _____ 様 | 請求宛名 _____             |

Tel. ( ) - \_\_\_\_\_

平成 年 月 日

# 大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書 頒 布 の お 知 ら せ

本学会では、平成4年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、大学、高専、短大などにおける一般情報処理教育について、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

• 目 次

1. 概要
  2. 調査研究の目的
  3. 一般情報処理教育の教育理念
  4. 一般情報処理教育カリキュラム
  5. 一般情報処理教育の教育環境
- 付録 A. 講義例 B. 科目構成例 C. 教科書・参考書 D. 文献

本報告書を下記によりお分けいたします。

申込書（1枚1人使用のこと）を郵便、またはFax. にて申込先あてお送りください。

- ・頒布価格 2,500 円 (送料, 消費税込)
- ・申込・問合せ先 〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階  
(社) 情報処理学会 研究会係 Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

申 込 書

大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書（一般）

冊  
申込者氏名

会員番号

連絡先所属

Tel.

—

Fax.

— —

送本先

三

希望部数 部

\* 住 所

請求書 通

\* 所 属

見積書 通

納品書 通

請求宛名

\* 氏 名

殿

←送本用宛名ラベルに使用の為  
楷書にてご記入ください

送金方法（該当欄に✓印願います）

\*名義人 東京都新宿区西新宿1-24-1 (社)情報処理学会

- ☐ 現金書留      ☐ 郵便振替（東京5-83484）      ☐ 持参

- ☐
- 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勸業銀行新宿西口支店 2049562 • 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

• 振込銀行名

• 送金人氏名

・送金に関する問合せ先 担当者

Tel.

---

大学等における情報システム学の教育の在り方に関する調査研究報告書  
頒 布 の お 知 ら せ

本学会では、平成4年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、現代社会を支える基盤技術となっている情報システムについて、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

## • 目次 概 要

2. 情報システム学の定義
3. 情報システム学の理論体系
4. 理論系アプローチによる情報システム学のカリキュラム試案
5. 情報システムの構築技術
6. 構築系アプローチによる情報システム学のカリキュラム試案
7. 情報システム学のカリキュラムの実施について

本報告書を下記によりお分けいたします。

申込書（1枚1人使用のこと）を郵便，またはFax. にて申込先あてお送りください。

- ・頒布価格 3,000 円 (送料、消費税込)

- ・ 申込・問合せ先 〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階  
(社) 情報処理学会 研究会係 Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

## 申 込 書

大学等における情報システム学の教育の在り方に関する調査研究報告書 (I S)

冊  
申込者氏名

会員番号

連絡先所属 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ Fax. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

送本先  希望部数  部

\* 住 所 \_\_\_\_\_ 請求書 通

\* 所 属 見積書 \_\_\_\_\_ 通

納品書 通

氏 名 殿 ←送本用宛名ラベルに使用の為  
楷書にてご記入ください

送金方法（該当欄に✓印願います）

\*名義人 東京都新宿区西新宿1-24-1 (社)情報処理学会

- ☐ 現金書留      ☐ 郵便振替（東京5-83484）      ☐ 持参

- ☐
- 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勸業銀行新宿西口支店 2049562 ・ 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

振込銀行名 • 送金人氏名

送金に関する問合せ先 担当者

Tel.                    -                    -

## 情報処理学会第49回全国大会実施要領

### 全国大会講演参加費等の改正について

－より良い全国大会の開催のために－

全国大会の運営も会員各位のご尽力により、内容の充実に当たっておりますが、厳しい日本経済の影響を受け苦しいものになっています。

この苦しい財政の建て直しを計り、参加者および講演発表者に、より良い条件で全国大会に参加していただくために、昭和51年（第17回）以降据え置きにしておりました参加費と昭和57年（第24回）以降据え置きにしておりました講演参加費を第49回全国大会（平成6年後期）から下記のように改正いたします。何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

・講演参加費 会 員 7,000 円→9,000 円  
学 生 4,000 円→5,000 円

・参 加 費 会 員 1,000 円→2,000 円  
非会員 2,000 円→4,000 円  
学 生 無料

#### ・講演論文集発送について

今回から講演者および論文集予約者（継続購入は除く）には大会会場でお渡しいたします。  
なお、希望者には大会後有料で発送いたします。

講演発表希望者は実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

講演申込書締切日の厳守を徹底しますので、申込書等の提出は必ず期日までにお出しください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

開催期日 平成6年9月28日（水）～30日（金）  
会 場 北海道大学教養部（札幌市北区北13条西 8）  
日程一覧 1. 講演申込書の送付

学会誌本号（Vol. 35, No. 4）掲載の講演申込書に記入して、応募規程 a. の申込方法により平成 6 年 6 月 15 日（水）（必着）お送りください。なお6月15日に持参する方はエステック情報ビル27階情報処理学会第一会議室にて受付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

なお、プログラム編成が終わり講演番号が決定しますと、発表セッション等の変更はできません。論文の該当分野は十分ご確認してお申込みください。

#### 2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

#### 3. 登録原稿等の送付

6月下旬に事務局から「登録原稿」等をお送りいたします。講演番号も同時に通知いたしますので発表日時をご確認ください。

#### 4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して8月15日（月）（必着）までにご提出ください。

#### 5. 大会プログラムを学会誌9月号（Vol. 35, No. 9）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

#### 応募規程

##### I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

##### II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成6年度会費未納の会員は発表できません。

- 4.電気, 電子情報通信, 照明, テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし, 奨励賞の表彰対象者にはなれません。

### III. 講演論文該当分野

#### 1. 情報科学一般

##### A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

##### B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

##### C. 教育

- a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他

#### 2. 基礎理論及び基礎技術

##### A. 情報数学及び情報理論

- a. 形式理論, b. オートマトン理論, c. 言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. グラフ理論, 組合せ理論, g. 符号理論, h. その他

##### B. 非線形力学

- a. カオス, b. フラクタル, c. その他

##### C. アルゴリズム理論

- a. 離散アルゴリズム, b. データ構造, c. 並列アルゴリズム, d. 分散アルゴリズム, e. 確率アルゴリズム, f. 近似アルゴリズム, g. 計算幾何学, h. 計算代数学, i. 計算的学習理論, j. 数式処理, k. その他

##### D. オペレーションズリサーチ

- a. 線形, b. 非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. ペトリネット, h. その他

##### E. 確率・統計

- a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. 時系列解析, f. その他

##### F. 数値計算

- a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形方程式, e. 非線形方程式, f. 固有値問題, g. 数値微分, h. 数値積分, i. 常微分方程式, k. 偏微分方程式, l. 積分方程式, m. 極値問題, n. 特殊関数, o. 乱数, p. その他

##### E. 数値シミュレーション

- a. 有限要素法, b. 差分法, c. 境界要素法, d. モンテカルロ法, e. 粒子シミュレーション, f. 可視化, g. その他

##### F. 高性能計算

- a. 並列化, b. ベクトル化, c. 性能評価, d. その他

#### 3. 人工知能及び認知科学

##### A. 知識処理

- a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 知識ベース, g. 非単調理論, h. ファジィ推論, i. 不確実性処理, j. 学習, k. 理解・識別論, l. その他

##### B. 人工知能システム

- a. エキスパートシステム, b. エキスパートシステム作成支援ツール, c. ゲームプログラム, d. 知能ロボット, e. その他

##### C. 自然言語処理

- a. 機械翻訳, b. 形態素解析, c. 構文解析, d. 意味解析, e. 文生成, f. 談話理解, g. 文法, h. 辞書, i. その他

##### D. パターン認識

- a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. 図面認識, h. その他

##### E. 生体情報処理

- a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. サイバネティクス, e. ニューラルネットワーク,
- f. 自己組織化, g. 遺伝的アルゴリズム, h. 人工生命, i. その他

F. 感性情報処理

- a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他

4. データ処理

A. 音声処理

- a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他

B. 画像・図形処理

- a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理,
- g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他

C. テキスト処理

- a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン,
- f. パタン照合アルゴリズム, g. その他

D. マルチメディア処理

5. ソフトウェア

A. 基礎理論

- a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論,
- e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム,
- j. プログラム合成・変換, k. その他

B. プログラム言語及び仕様記述言語

- a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語,
- f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語,
- j. その他

C. 言語処理系

- a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. 並列化コンパイラ,
- g. その他

D. ツール

- a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. 並列化支援ツール,
- f. その他

E. ウィンドウシステム

F. オペレーティングシステム

- a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理,
- g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他

G. データベース・情報検索

- a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理,
- f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース,
- k. 演繹データベース, l. オブジェクト指向データベース, m. その他

H. プログラミング技術

- a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング,
- f. ベクトル化, g. 並列化, h. その他

I. ヒューマンインタフェース

6. ソフトウェア工学

A. 開発技術

- a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング,
- f. 部品化・再利用技術, g. ドメイン分析, h. モデリング・プログラム自動構成,
- i. 仕様検証, j. その他

B. テスト・保守・管理

- a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析,
- e. 保守運用管理, f. メトリックス, g. その他

C. ソフトウェアプロセス

- a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他

## D. 開発環境

- a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. リポジトリ又はSEDB, e. その他

## E. ヒューマンファクタ

- a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育, c. プロジェクト管理, d. プログラミング行動, e. その他

## F. ソフトウェア品質

- a. 品質保証, b. 品質管理, c. 品質メトリクス, d. 信頼性予測, e. その他

## 7. ハードウェア

## A. 基礎理論

- a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他

## B. 論理回路

- a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他

## C. デバイス

- a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他

## D. アーキテクチャ

- a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. 高級言語マシン, d. スーパーコンピュータ, e. ワークステーション, f. マイクロプロセッサ, g. 非ノイマンアーキテクチャ, h. 並列アーキテクチャ, i. 相互結合網, k. フォールトトレランス, l. リアルタイムシステム, m. DSP, n. ニューロコンピュータ, o. 光コンピュータ, p. その他

## E. 周辺・端末

- a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他

## F. 設計技術及び設計自動化

- a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. 論理合成, h. その他

## G. 開発環境

- a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他

## H. テスト・検証

- a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他

## 8. ネットワーク

## A. 通信技術

- a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他

## B. ネットワーク管理

- a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他

## C. コンピュータネットワーク

- a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

## 9. システム

## A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

## B. グループウェア

- a. 協調基礎, b. グループワーク応用, c. グループワークインフラストラクチャ, d. マルチユーザインタフェース, e. 事例研究, f. その他

## C. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

## D. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

|           |  |
|-----------|--|
| 掲載<br>ページ |  |
|-----------|--|

情報処理学会第49回全国大会  
講演申込書

|          |  |
|----------|--|
| 受付<br>番号 |  |
| 講演<br>番号 |  |

第49回全国大会に下記により講演申込をいたします。

|                |     |     |     |                                            |         |
|----------------|-----|-----|-----|--------------------------------------------|---------|
| 注1)<br>標 題     |     |     |     |                                            |         |
| フリガナ注1)<br>著者名 |     |     |     |                                            |         |
| 所属名            |     |     |     |                                            |         |
| フリガナ<br>著者名    |     |     |     | ←注) 講演者を○印で表示してください(氏名の左上).<br>(該当欄を○印で囲む) |         |
| 所属名            |     |     |     | 正会員                                        | 学生会員    |
|                |     |     |     | 他学会員                                       | ビデオ     |
| 注2)<br>論文該当分野  | (1) | (2) | (3) | *1 注 3)                                    | *2 注 3) |

注1) 学会誌および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。

注2) 全国大会実施要領の論文該当分野を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“ソフトウェア工学分野、開発環境”の場合、6Dと書く)

注3) 複数件講演申込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の\*1または\*2に記入してください。

|               |
|---------------|
| 論文要旨 (300字程度) |
|               |
|               |
|               |
|               |
|               |
|               |
|               |
|               |
|               |

第49回全国大会講演発表用書類送付宛名 (講演者名をお書きください)

◎登録原稿等の送料として郵便切手 190円を添付のこと。

|                  |  |                   |
|------------------|--|-------------------|
| 講演番号             |  | (楷書でハッキリ記入してください) |
| 登録原稿等送付先 〒       |  |                   |
| 機 関 ・ 部 課 名      |  |                   |
| フリガナ             |  |                   |
| 講演者氏名            |  |                   |
| 殿 (会員番号)         |  |                   |
| Tel. (ex. ) Fax. |  |                   |

第 49 回全国大会講演参加費送金連絡票

- この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入ください。
- 1. 1 件につき、会員は 9,000 円、学生は 5,000 円（講演者には参加章・プログラム・論文集 1 冊を大会当日総受付でお渡しします。）
  - 2. 講演不採択の場合は、講演参加費は返却しますが、申込後取消の場合は返却しません。
  - 3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
  - 4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにまとめてご提出ください。
  - 5. 銀行振込は、所定の銀行口座〔三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会口座 No. 0003774〕にご送金ください。  
なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。  
ただし、2 件以上の場合には 1 件増すごとに 5,000 円か 9,000 円をご送金ください。  
注：ご送金は講演発表者名でお願いします。
  - 6. 2 件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（連名者の氏名は記入しないでください。）
  - 7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
  - 8. 講演参加費は消費税対象外です。
  - 9. 講演参加費は平成 6 年 6 月 15 日までにお支払いください。

| 講演参加費 | 5,000 円     | 件 | 9,000 円     | 件 |
|-------|-------------|---|-------------|---|
| 講演者氏名 | ○<br>○<br>○ |   | ○<br>○<br>○ |   |
| 合計金額  |             |   |             | 円 |

必要書類：請求書 通，納品書 通，見積書 通  
※必要のない方は空欄のままです。

送金方法： ☐ 郵便振替（東京 5 - 83484） ※該当箇所に℥印を付けてください。  
☐ 銀行振込 銀行  
（専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774）  
送金月日： 月 日 送金人名義：

通信欄：

(楷書でハッキリ記入してください)

講演参加費  
取扱者連絡先 \_\_\_\_\_

機関・部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ ex.( \_\_\_\_\_ ) Fax. \_\_\_\_\_

## 情報処理学会「行事」・「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚にて、下記ご記入の上、お申し込みください)

(コードNo.は、開催のお知らせに記載してあります)

|        |  |
|--------|--|
| コードNo. |  |
|--------|--|

○参加費 (シンポジウム・講習会・セミナー)  
(該当するものを○で囲み、金額を記入してください)

|      |                   |
|------|-------------------|
| 該当を○ | 会員・研究会登録会員・非会員・学生 |
| 金 額  |                   |

・参加費には資料代が含まれています。  
・3日前までに連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○懇親会費 \_\_\_\_\_ 円

○資料のみ (送料込) \_\_\_\_\_ 冊 \_\_\_\_\_ 円

通信欄

○アンケート (宿泊付の場合の部屋割りの参考にします)

(1) たばこ : ☐すう ☐すわない(2) 年齢 : ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代以上

その他ご要望があればお書きください。

○第 回全国大会論文集・参加予約

| 分 冊   | 予 約 価                  | 部数 | 金 額 |
|-------|------------------------|----|-----|
| 第1分冊  | 4,000円                 |    |     |
| 第2分冊  | 4,000円                 |    |     |
| 第3分冊  | 4,000円                 |    |     |
| 第4分冊  | 4,000円                 |    |     |
| 第5分冊  | 4,000円                 |    |     |
| 第6分冊  | 4,000円                 |    |     |
| セット   | 24,000円                |    |     |
| 送 料   |                        |    |     |
| ※ 参加費 | 会員 2,000円<br>一般 4,000円 |    |     |
| 懇親会   |                        |    |     |
| 合 計   |                        |    |     |

○送金明細

※参加費には、プログラム、参加章が含まれています。

|                         |                                               |       |       |
|-------------------------|-----------------------------------------------|-------|-------|
| 支 払 方 法<br>(該当を○してください) | a) 当日、会場受付にて支払います。                            |       |       |
|                         | b) 現金書留で _____ 月 _____ 日に送金します。               |       |       |
|                         | c) 郵便振替 (東京5-83484) で _____ 月 _____ 日に送金します。  |       |       |
|                         | d) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で _____ 月 _____ 日に送金します。 |       |       |
|                         | 1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562                         |       |       |
|                         | 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608                         |       |       |
| 送 金 人 名 義               | 1,2とも名義人 社団法人 情報処理学会                          |       |       |
|                         | 3. 三菱銀行虎ノ門公務部 0003774 (全国大会専用口座)              |       |       |
|                         | 名義人 社団法人 情報処理学会講習会                            |       |       |
| 請 求 書 類                 | 請求書                                           | 見積書 通 | 納品書 通 |
|                         | 請求先                                           |       |       |

申込先: (社) 情報処理学会 事業係 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27階  
Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534 e-mail: simanuki@ipsj.or.jp  
e-mailでの申込みの場合は、本申込書の事項をもれなく明記し、お送りください。

— 通信・送付先 —

住所 〒 \_\_\_\_\_

機関・部課名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

会員番号

( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

1-1 No. RS94

情報処理学会「連続セミナー 94」  
 ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための  
 最新情報テクノロジーの理論と実践

企業等において、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）が積極的に検討されていますが、この中で先端情報テクノロジーが要素技術として必要不可欠であり、これを取り入れた情報システムが極めて重要な役割を占めています。

本セミナーは、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）の核心である最新情報テクノロジーの理論および実践について、以下のとおり6回のテーマで実施します。多数の方々の参加をお願いいたします。

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 日 時   | 第1回 平成6年5月12日（木）                       |
|       | 第2回 平成6年7月14日（木）                       |
|       | 第3回 平成6年9月16日（金）                       |
|       | 第4回 平成6年11月17日（木）                      |
|       | 第5回 平成7年1月19日（木）                       |
|       | 第6回 平成7年3月9日（木）                        |
| 場 所   | 工学院大学 3階312教室（東京都新宿区西新宿）               |
| 参 加 費 | 会員 80,000 円 非会員 100,000 円 学 生 12,000 円 |
| 定 員   | 250名（学生は20名）になり次第締切ります。                |
| 申込締切  | 1994年4月25日（月）厳守                        |
| 資 料   | 講演の資料を当日配布いたします。                       |

第1回] 1994年 5月12日（木）  
 リエンジニアリングとライトサイジングのこれからの展開  
 -企業の情報システムはどう姿を変えるか-

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| セッション1 (10:00~11:15)             |                          |
| リエンジニアリングと情報システム                 | 水越 豊（ボストンコンサルティング）       |
| セッション2 (11:30~12:45)             |                          |
| ライトサイジングの構築技術                    | 拝原 正人（NTT）               |
| セッション3 (14:00~15:15)             |                          |
| クライアント/サーバ・コンピューティングの将来          | 西岡 郁夫（インテルジャパン）          |
| パネルディスカッション(15:30~17:30)         | コーディネータ：杉山 元伸（NTT データ通信） |
| パネリスト：内永ゆか子（日本IBM）、孫 正義（ソフトバンク）、 |                          |
| 成毛 真（マイクロソフト）、西岡 郁夫（インテルジャパン）、   |                          |
| 拝原 正人（NTT）                       |                          |

〔第2回〕1994年 7月14日（木）

## 新しいオペレーティングシステム技術

新しいオペレーティングシステムと技術動向  
 Windows NT  
 Solaris  
 パネルディスカッション  
 「プラットフォームとしてのオペレーティングシステム」  
 コーディネータ：砂原 秀樹（電通大）

〔第3回〕1994年 9月16日（金）

## 新しいユーザインタフェース技術の応用と課題

- ・マルチメディア
  - ・GUI
  - ・デザインツールとユーザビリティ
  - ・パネルディスカッション
- コーディネータ：小川 克彦（NTT）

〔第4回〕1994年11月17日（木）

オブジェクト指向技術

- ・オブジェクト指向開発の方法
- ・オブジェクト指向開発の実際（管理的側面）
- ・オブジェクト指向開発の適用と事例
- ・パネルディスカッション

コーディネーター：青山 幹雄（富士通）

〔第6回〕1995年 3月 9日（木）

インターネットの新しい展開

- ・内外のインターネットの現状
- ・インターネットの新しいサービス
- ・インターネットの新しい技術
- ・パネルディスカッション

コーディネーター：石田 晴久（東大）

〔第5回〕1995年 1月19日（木）

新世代データベースシステム技術の展望

- ・オブジェクト指向データベースシステム技術の展望
- ・マルチメディアデータベースシステム技術の展望
- ・ダウンサイジングにおけるデータベースシステム技術
- ・パネルディスカッション

コーディネーター：増永 良文（情報大）

講演者が決定次第ご案内いたします。

内容が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

コードNo. S-SE94

## 「ソフトウェアプロセス・シンポジウム」開催について

標記シンポジウムに関して多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。審査の結果、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、ソフトウェアプロセスについての研究開発や国際標準化の動向のサーベイ、事例発表などをおして、現状をよりよく理解していただくために多数のチュートリアルを設けました。実務としてソフトウェア開発やその管理に携わっている方々にとって有益な情報が得られると思っています。多数の方々のご参加をお願いいたします。

なお、前日の5月25日(水)には、ソフトウェアプロセスの技術的な発表・討議を中心とした研究会を同じ場所で開催する予定です。こちらの方にもご参加ください。

日 時 平成6年5月26日(木)～27日(金)  
 場 所 工学院大学 3階 312教室(東京都新宿区西新宿)  
 主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会  
 協 賛 日本ソフトウェア科学会ソフトウェアプロセス研究会  
 電子情報通信学会知能ソフトウェア工学研究会  
 参 加 費 会員 17,000円(20,000円) 学生 3,000円(5,000円) 非会員 20,000円(23,000円)  
 ソフトウェア工学研究会登録会員 15,000円(18,000円)  
 ※括弧内は情報交換会の会費込みです。  
 ※協賛学会研究会登録会員の方は会員扱いとさせていただきます。  
 資料のみ 5,000円(送料込み)  
 申込締切 平成6年5月16日(月)(定員200名になり次第締め切らせていただきます)  
 申 込 先 (社)情報処理学会 シンポジウム係  
 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル 27階  
 Tel.(03) 5322-3535 Fax.(03) 5322-3534

## － プ ロ グ ラ ム －

第1日 5月26日(木)

開会の挨拶(9:30～9:40)

磯田 定宏(NTT)

セッション1(9:40～10:40):ソフトウェアプロセスの開発環境への応用

座長 佐伯 元司(東工大)

・ソフトウェアプロセスに基づくソフトウェア開発環境の検討

山本 里枝子, 近藤 竜生, 吉田 裕之(富士通研)

・プロセスプログラムによる環境の記述

杉山 安洋(日大)

招待講演(10:40～11:40)

司会 佐伯 元司(東工大)

・ソフトウェアプロセスモデルに関する研究の概要

落水 浩一郎(北陸先端大)

－昼食(11:40～13:00)－

チュートリアル(13:00～14:00)

司会 坪谷 英昭(NEC)

・ソフトウェアプロセスの適用

望月 純夫(三菱スペース・ソフトウェア)

セッション2(14:00～15:00):開発環境とプロセスガイド

座長 坪谷 英昭(NEC)

・ソフトウェア工程管理システムと開発環境の統合の一つの試み

樋山 淳雄, 古宮 誠一(IPA)

・ソフトウェア開発プロセスの再構築(二重反復拡大型プロセスモデルに基づくCSS開発標準手順)

石田 厚子, 影井 宏司(日立), 豊田 健治(日立ソフトウェアエンジニアリング)

－休憩(15:00～15:15)－

チュートリアル(15:15～16:15)

司会 三ツ井 欽一(日本IBM)

・ソフトウェアプロセスの標準化

村上 憲稔(富士通)

セッション3(16:15～17:45):ソフトウェアプロセスの開発環境への統合

座長 三ツ井 欽一(日本IBM)

・ソフトウェアプロセスの載るCASE環境へ向けて

鯉坂 恒夫(京大)

・ISO9000-3によるプロセス計画管理機構cooPsの評価

元治 景朝, 盛田 政敏(さくらケーシーエス), 荻原 剛(奈良先端大), 井上 克郎(阪大)

- ・電子メール基盤「め組」を利用したソフトウェアプロセス管理      - 究仙 -

金政 ふじ, 松本 英之, 垂水 浩幸, 田淵 篤 (NEC)

情報交換会 (18:00~20:00)

第2日目 5月27日 (金)

チュートリアル (9:30~10:30)

司会 松浦佐江子 (IPA)

- ・ソフトウェアプロセス・リエンジニアリング

青山 幹雄 (富士通)

招待講演 (10:30~11:45)

司会 松浦佐江子 (IPA)

- ・品質保証の枠組 ISO9000-3 とソフトウェアプロセス

飯塚 悦功 (東大)

- 昼食 (11:45~13:00) -

チュートリアル (13:00~14:00)

司会 古宮 誠一 (IPA)

- ・プロセス成熟度モデル CMM

堀田 勝美 (NTT)

セッション4(14:00~15:30): 管理プロセスの理論と実践

座長 古宮 誠一 (IPA)

- ・プロセス記述・実行システムを用いた CMM と ISO9000-3 の比較の試み

飯田 元, 三村 圭一, 渡辺 敦志, 井上 克郎 (阪大), 鳥居 宏次 (奈良先端大/阪大)

- ・ISO9000-3 の取得と運用

谷津 行穂 (日本IBM)

- ・ISO9000-3 に従ったソフトウェア品質システムの導入

天池 学 (エスイーティ)

- 休憩 (15:30~15:45) -

パネル (15:45~17:45)

コーディネータ 玉井 哲雄 (筑波大)

閉会の挨拶 (17:45~17:50)

望月 純夫 (三菱スペース・ソフトウェア)

第1日目のセッションの終了後、情報交換会を予定しています。ふるってご参加ください。

コード No. S-CV94

「画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '94)」開催について

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。皆様奮ってご参加ください。

日時 平成6年7月13日（水）～15日（金）（12日夜にチュートリアルがあります）

場所 グリーンピア南阿蘇（〒869-14 熊本県阿蘇郡久木野村久石 Tel. (09676)7-2131 ）

主催 情報処理学会 コンピュータビジョン研究会  
電子情報通信学会パターン認識・理解研究会

協賛 テレビジョン学会画像応用研究会

参加費 会員 47,000円, 学生 39,000 円, 非会員 50,000円  
※参加費は、3泊の宿泊費, 昼食2食, 懇親会費, 論文集代を含みます。7月12日夜より7月15日昼まで  
実行委員会で宿泊のための部屋を予約してあります。

資料のみ 8,000 円（送料込み）

申込締切 平成6年5月27日（金）（定員120 名。宿泊施設の関係で定員になり次第締切ります）

申込先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係  
〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル 27階  
Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

－ MIRU'94 プログラム－

| 7月12日                           | 7月13日                   |                         | 7月14日                   |                          | 7月15日                   |                         |
|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|
| チュートリアル<br>↓<br>16:30<br>～17:30 | 開会の辞<br>9:00～9:10       |                         |                         |                          |                         |                         |
|                                 | 招待講演<br>9:10～10:10      |                         | 招待講演<br>9:00～10:00      |                          | S (13) 4件<br>9:00～10:20 | S (14) 4件<br>9:00～10:20 |
|                                 | L (1) 3件<br>10:15～12:10 | L (2) 3件<br>10:15～12:10 | L (3) 3件<br>10:10～12:05 | L (4) 3件<br>10:10～12:05  | L (5) 2件<br>10:30～11:35 | L (6) 2件<br>10:30～11:35 |
|                                 | 昼食<br>12:10～13:10       |                         | 昼食<br>12:10～13:00       |                          | 閉会の辞<br>11:45～12:00     |                         |
|                                 | S (1) 5件<br>13:10～14:50 | S (4) 5件<br>13:10～14:50 | S (7) 6件<br>13:00～15:00 | S (10) 6件<br>13:00～15:00 |                         |                         |
|                                 | S (2) 5件<br>15:00～16:40 | S (5) 4件<br>15:00～16:20 | S (8) 6件<br>15:10～17:10 | S (11) 6件<br>15:10～17:10 |                         |                         |
|                                 | S (3) 5件<br>16:50～18:30 | S (6) 5件<br>16:50～18:30 | S (9) 4件<br>17:20～18:40 | S (12) 4件<br>17:20～18:40 |                         |                         |
|                                 | 懇親会<br>19:00～21:00      |                         |                         |                          |                         |                         |

7月12日(火)

チュートリアル(16:30~17:30)

脳を持たないロボット

稲葉 雅幸(東大)

第1日 7月13日(水)

開会の辞(9:00~9:10)

松山 隆司・阿部 圭一 両実行委員長

招待講演(9:10~10:10)

司会 松山 隆司(岡山大)

・並列アルゴリズムの最近の動向

宮野 悟(九州大)

一般講演(10:15~18:30)

L(1) 3次元数理解 I (10:15~12:10)

・3次元的に存在する直線がなす幾何学的不変量

杉本 晃宏(ATR)

・複数視点からのコニックを基準にした不変量

高永 治, 久野 義徳, 三浦 純, 白井 良明(阪大)

・ドロネー網を用いた3次元形状の高機能ポリゴンパッチ生成法

山本 裕之, 山内 晋二, 田村 秀行(キヤノン)

S(1) 文字・文書画像 I (13:10~14:50)

・結合数を含む複数の特徴を用いてのオフライン手書き漢字認識

川勝 法史, 高坂 一成, 大森 健児(法政大)

・漢字の図形的・統計学的情報を用いた手書き漢字認識システム

柿川 正紀(長崎大), 志久 修(佐世保高専), 中村 彰(長崎大)

・力学モデルによる筆順を考慮したオフライン文字認識の基礎研究

永崎 健, 中川 正樹(農工大)

・ストロークのつながりに寛容なオンライン手書き文字認識

秋山 勝彦, 中川 正樹(農工大)

・色分類によるカラー文書画像からの文字パターン抽出法

仙田 修司, 美濃 導彦, 池田 克夫(京大)

S(2) 3次元数理解 II (15:00~16:40)

・輪郭線の屈曲点, 変曲点, 遷移点の検出

杉本 和英, 富田 文明(電総研)

・イメージ・スキャナを用いた書籍表面の3次元復元(II) - 相互反射を考慮したShape from Shading -

浮田 浩行, 和田 俊和, 松山 隆司(岡山大)

・不連続性を保存した平滑化による3次元曲面の形状復元と特徴抽出

査 紅彬, 村松 彰二, 長田 正(九大)

・Adaptive sampling and reconstruction for discontinuity-preserving texture mapped triangulation

田中 弘美(ATR)

・Shape and reflectance of a polyhedron from interreflections

楊 駿, 大西 昇, 杉江 昇(名大)

S(3) 文字・文書画像 II (16:50~18:30)

・文字同士の接触パターンに基づく文字切り出し処理を用いた手書き文字列認識

藤井 俊治, 大森 健児(法政大)

・手書き文字認識における重み付き距離関数の学習法 - 重み付き学習ベクトル量子化 -

坂野 鋭, 出元 浩, 木田 博巳(NTTデータ)

・複数特徴による階層的識別器の自動設計に関する一手法

井藤 好克, 大橋 健, 江島 俊郎(九工大)

・手書き文字認識を指向した力学的認識モデルの一形態

寺村 健, 中川 正樹(農工大)

・リカレントニューラルネットワークによる刻印文字画像の二値化

久保田 整(スズキ)

L(2) 領域分割(10:15~12:10)

・等色線情報に基づくカラー画像の領域分割

武田 哲也, 岡田 至弘(龍谷大)

・分散協調処理による画像の領域分割法

和田 俊和, 野村 圭弘, 松山 隆司(岡山大)

・エッジ情報と領域情報を組み合わせた領域分割手法

杉山 岳弘, 阿部 圭一(静岡大)

S(4) 画像解析 I (13:10~14:50)

・画像中の半透明物体の検出について - 彩色物体の場合 -

松久 祥子, 大西 昇, 杉江 昇(名大)

・複数の反射率を持つ対象物体の明るさ解析型形状推定法

伊東 敏夫(ダイハツ工業)

・New descriptors for texture segmentation and description using the texture spectrum approach

Rafael Santos, 大橋 健, 江島 俊郎(九工大)

・連続スペクトル画像による物体認識についての考察

真鍋 佳嗣, 佐藤 宏介, 井口 征士(阪大)

・似顔絵送受信機能を持つコミュニケーションツールの提案と実現

土屋 孝文(中京大)

鈴木 健志(名鉄コンピュータサービス), 村上 和人, 樋口 一枝, 興水 大和, 戸田 正直(中京大)

S(5) 領域と境界の抽出(15:00~16:20)

・可変バイアスニューラルネットワークを用いた輪郭特徴抽出

原 健二(福岡県工業技術センター), 査 紅彬, 長田 正(九大)

・遮蔽エッジの光学的性質

藤原 久永(岡山県工業技術センター), 浅田 尚紀, 松山 隆司(岡山大)

・判別分析法を用いたHough 変換セグメント切り出しアルゴリズム

加藤 邦人, 村上 和人, 興水 大和(中京大)

・最小記述長原理に基づく輪郭線図形の記述と認識について

窪田 進, 出口光一郎 (東大)

S (6) 画像解析II (16:50~18:30)

・一般化ハイパーコラムモデルの画像認識能力について

鶴田 直之, 谷口倫一郎, 雨宮 真人 (九大)

・パイプライン方式によるリアルタイムの領域ラベリング

服部 哲郎 (香川大)

・多次元ヒルベルト曲線を利用した多次元画像解析

新見 道治, 鎌田清一郎, 河口 英二 (九工大)

・記号操作とパターン認識の統合による画像推論 - 回路素子の誤認識の修正 -

竹内 好昭, 西 美保子, 大森 隆司 (農工大)

・階層化領域属性記述に基づく画像データベースシステムの構築

津田 修, 岡田 至弘 (龍谷大)

第2日 7月14日 (木)

特別講演 (9:00~10:00)

司会 阿部 圭一 (静岡大)

・コンピュータビジョンにおける計測の役割

井口 征士 (阪大)

一般講演 (10:10~18:40)

L (3) 3次元数理III (10:10~12:05)

・照度に基づく動画解析

武川 直樹 (NTT)

・なめらかな多価関数によるデータ近似を行う標準正則化アルゴリズムと多重表面の復元

志沢 雅彦 (ATR)

・能動的なカメラの運動によるカメラ内部パラメータ同定法

木下 敬介, 出口光一郎 (東大)

S (7) 記述とモデリング (13:00~15:00)

・力の入出力に着目した道具の機能モデル表現と物体認識への適用

服部 洋一, 秋山 文一, 黄瀬 浩一 (大阪府立大), 北橋 忠宏 (阪大), 高松 忍, 福永 邦雄 (大阪府立大)

・Segmentation of texture recognition of two geometric primitives for automated input of engineering

drawing B. W. MIN (System Eng. Research Institute), H. Koshimizu (Chukyo Univ.), J-I. Toriwaki (Nagoya Univ.)

・注意制御に基づく図面理解

北村 聡, 加藤 博一, 井口 征士 (阪大)

・空間的広がりを考慮した領域間の位置関係の記述

宮島 耕治, Anca Ralescu (国際ファジィ工学研)

・画像オブジェクトモデルに基づく3次元構造の獲得

守田 了, 田中 稔 (山口大)

・階層的パーツ記述からの3次元物体カテゴリーモデルの獲得

森山 真光, 佐藤 嘉伸, 田村 進一 (阪大)

S (8) 3次元数理IV (15:10~17:10)

・2次元照合による3次元物体の認識 - パラメトリック固有空間法 -

村瀬 洋 (NTT), Shree Nayar (コロンビア大)

・多数の画像のボーティングによる3次元情報抽出

川戸慎二郎 (ATR)

・座標変換パラメータの並列推定に基づいた3次元情報接続

森本 正志, 末永 康仁, 中根 一成 (NTT)

・位置姿勢推定のための多重方向ヒストグラム

田中 弘一, 武川 直樹 (NTT)

・指向性投票に基づくGeometric Hashing 法による姿勢認識

柴田 昌宏, 金子 俊一, 本田 庸悟 (農工大)

・二つの視点から撮影した同一情景の領域間対応づけ

王 彩華, 阿部 圭一 (静岡大)

S (9) 動画解析I (17:20~18:40)

・対象の局在性に着目した障害物認識手法

羽下 哲司, 笹川 耕一, 黒田 伸一 (三菱)

・動的光散乱法に基づく動画処理によるサブミクロン粒子のブラウン運動解析

百田 正広 (徳山高専), 木村 毅, 三池 秀敏 (山口大)

・複数ウィンドウの輪郭追跡による側方車両速度検出

越後 富夫 (日本IBM)

・エッジヒストグラム法を用いた走行環境認識の一手法

伊東 敏夫, 山田 憲一 (ダイハツ工業)

L (4) 画像解析III (10:10~12:05)

・コア領域を用いるシーン解釈

Michael Hild, 白井 良明 (阪大)

・スケールスペースにおけるエッジの移動量を用いた図形輪郭の特徴抽出

奥田 浩人, 出口光一郎 (東大)

・Does the brain have a 'Lie algebra machine' cortex? -Invariant recognition of objects using Lie algebra of perceptual vector fields

趙 晋輝 (中央大), 箕輪 研二, 辻井 重男 (東工大)

S (10) センサ統合 (13:00~15:00)

・ステレオカメラシステム - パタパター -

河井 良浩 (電総研), 石山 豊 (スタンレー電気), 植芝 俊夫,

角 保志 (電総研), 高橋 裕信 (三洋電機), 富田 文明 (電総研)

・3台のレンジファインダを用いた物体の姿勢決定における最適センサ配置の設計

見持 圭一 (三菱重工), 金出 武雄 (カーネギーメロン大)

・Shooting recognition of motion scenes for robot vision

小島 浩, 関 進, 高橋 勝彦, 岡 隆一 (RWCP)

- ・全方位視覚センサHyoer Omni Vision を用いた視覚誘導
- ・複合視覚センサMISSによる効率的3次元情報の獲得
- ・複数ペア画像を用いたステレオマッチング

山澤 一誠, 八木 康史, 谷内田正彦 (阪大)  
奥村 仁, 八木 康史, 谷内田正彦 (阪大)  
尾島 修一 (ATR), 森村 淳 (松下電器)

S (11) 手・顔画像の解析 (15:10~17:10)

- ・ピラミッド構造を用いたニューラルネットによる顔領域の切り出し
- ・3次元空間の運動を指示するジェスチャーの認識

奥 真一, 有木 康雄 (龍谷大)

- ・区分線形変換による似顔絵生成と表情について - 似顔絵生成の基礎理論 -

小野 伸文, 松永 敦, 大橋 健, 江島 俊郎 (九工大)

- ・上肢運動モデルを用いた手話教示システム
- ・単眼動画からの手の3次元運動及び位置の推定
- ・Gesture recognition from time-varying images

村上 和人, 興水 大和, 中山 晶, 福村 晃夫 (中京大)  
西川 誠, 寺内 睦博 (広島大)  
岩井 儀雄, 八木 康史, 谷内田正彦 (阪大)  
高橋 勝彦, 関 進, 小島 浩, 岡 隆一 (RWCP)

S (12) 距離画像 (17:20~18:40)

- ・距離画像処理による物体検出システム
- ・球面調和関数による距離画像の高効率なデータ圧縮
- ・多面体近似を用いた距離画像の領域分割
- ・単純な形状に着目した距離画像の粗さにロバストな形状認識

脇迫 仁 (安川電機), 鎌田清一郎, 河口 英二 (九工大)  
堀越 力, 末永 康仁, 中根 一成 (NTT)  
村瀬 晋二 (名大)  
梅田 和昇, 新井 民夫 (東大)

第3日 7月15日 (金)

一般講演 (9:00~11:40)

S (13) 動画画像解析 II (9:00~10:20)

- ・集団行動の定性的動画画像解析
- ・動画画像からの背景画像の自動生成と適応的更新
- ・流体方程式に基づくオブティカルフロー計算

川嶋 稔夫, 吉野 和芳, 青木 由直 (北大)  
影広 達彦, 大田 友一 (筑波大)

中島 義和 (福井大), 野川 裕記, 佐藤 嘉伸, 田村 進一 (阪大), 岡崎 耕三 (福井大)

- ・対象物体の回転による形状と反射率の同時計測

日浦 慎作, 佐藤 宏介, 井口 征士 (阪大)

L (5) 動画画像解析 (10:30~11:40)

- ・濃淡の保存則による勾配法の拡張
- ・リアルタイム・オブティカルフロー・プロセッサISHTAR

野村 厚志 (山口大)

塩原 守人, 瀬川 英吾, 江川 宏一, 佐々木 繁 (富士通)

S (14) 医用画像解析 (9:00~10:20)

- ・3次元モルフォロジカルフィルタによる肺癌病巣陰影の自動認識
- ・トップダウン型3次元画像認識システムTOPS-3D とその頭部MRI3次元画像への応用

山本 眞司 (豊橋技科大)

江 浩, 今尾 雅尚, 山本 眞司 (豊橋技科大)

- ・試行錯誤探索による胃 X 線二重造影からの胃輪郭線追跡

上井 弘樹, 山田 耕久, 白石 達也, 福島 重廣 (九工大)

- ・顎関節 X 線画像の理解

安永 真二, 児玉 和彦, 来栖 剛臣, 福島 重廣 (九工大), 大庭 健 (九州歯大)

L (6) 画像理解ハードウェア (11:30~11:40)

- ・視覚システム 'Sheila' の硝子検査システムへの応用
- ・再帰トラス結合アーキテクチャにおける並列対象認識アルゴリズム

伊藤 禎康 (名工大)

青山 正人, 浅津 英樹, 浅田 尚紀, 松山 隆司 (岡山大)

閉会の辞 (11:45~11:50)

長谷川純一プログラム委員長 (中京大)

CALL FOR PARTICIPATION  
1994 年 並列処理シンポジウム  
*Joint Symposium on Parallel Processing 1994*

**JSPP'94 参加者募集**  
工業技術院・筑波研究センター共用講堂  
1994 年 5 月 18 日 (水) ～ 20 日 (金)

21 世紀に向けた超並列処理について、研究発表および議論することを目的とした並列処理シンポジウム JSPP も、今回 6 回目を迎えることとなります。本シンポジウムは、単に並列処理に留まらず、分散・協調などの新しいテーマまで含んだ学際的な研究交流の場の一つとして、確立されてきております。今回も、並列処理に関する最先端の研究発表 48 件に加え、海外からの招待講演 2 件と幾つかの分野毎の小パネル討論を予定し、白熱した議論が行なわれることを期待しております。多数の方々の御参加をお待ちしております。

- 主催 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会、同・ハイパフォーマンスコンピューティング研究会  
同・システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会、同・データベースシステム研究会  
同・プログラミング—言語・基礎・実践—研究会、同・アルゴリズム研究会  
電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会  
人工知能学会・並列人工知能研究会

- 協賛 日本ソフトウェア科学会

- 後援 電子技術総合研究所

- 参加申込方法 下記の参加申込書によってお申し込み下さい。

- 参加申込先 (問合せ先) (社) 情報処理学会 シンポジウム (JSPP'94) 係

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F TEL: (03)5322-3535 FAX: (03)5322-3534

1994 年並列処理シンポジウム JSPP'94 参加申込書

標記シンポジウムの参加を下記の通り申し込みます (該当のものを○で囲む)。

1994 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

○ 参加費

|            | 主催研究会会員    | 主催 / 協賛学会員 | 非会員        | 学生         |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 4 月 17 日まで | ● 18,000 円 | ● 20,000 円 | ● 25,000 円 | ● 10,000 円 |
| 4 月 18 日以降 | ● 23,000 円 | ● 25,000 円 | ● 30,000 円 | ● 12,000 円 |

\* 研究会会員 / 学会員の方は、下記氏名欄の後に研究会 / 学会名をご記入下さい。

\* 参加費には論文集代と懇親会費が含まれています。また、上記の日付は入金日を基礎とします。

- 論文集のみ (送料込み 5,000 円) \_\_\_\_ 冊

- 送金方法 \_\_\_\_ 円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 下記の方法にて \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日に送金します。

- 現金書留 (送付先: 情報処理学会シンポジウム (JSPP'94) 係)

- 銀行振込: 第一勧業銀行新宿西口支店 (普)2049562 三菱銀行虎ノ門公務部 (普)0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

\* 送金先銀行 : \_\_\_\_ 銀行宛

\* 送金取扱銀行 : \_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_ 支店より

\* 送金人名義 : \_\_\_\_ 様

\* 請求書類の必要な方はお申し出下さい。

請求書 \_\_\_\_ 通、見積書 \_\_\_\_ 通、納品書 \_\_\_\_ 通、請求先 \_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人として下さい (コピー可)。

申込者連絡先 〒

機関・部課名

フリガナ

氏名 \_\_\_\_ 殿 (研究会 / 学会名 \_\_\_\_)

TEL \_\_\_\_ FAX \_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_

JSPP'94 セッション構成

|             |             | A 会場                                                                                                                                                                                                       | B 会場                               | C 会場      |
|-------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-----------|
| 5/18<br>(水) | 12:30～12:40 | 開会の辞・実行委員長挨拶                                                                                                                                                                                               |                                    |           |
|             | 12:40～14:00 | 招待講演(1)<br><i>The Convergence of Parallel and Distributed Computing: What it means for High Performance Architecture, Operating Systems and Languages</i><br>Greg Papadopoulos (MIT/Thinking Machines Co.) |                                    |           |
|             | 14:00～14:30 | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |           |
|             | 14:30～16:00 | 命令レベル並列処理                                                                                                                                                                                                  | 細粒度言語実装                            | 並列アルゴリズム  |
|             | 16:00～16:30 | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |           |
|             | 16:30～18:00 | システム<br>アーキテクチャ                                                                                                                                                                                            | 並列オブジェクト<br>実装                     |           |
|             | 18:30～20:30 | 懇親会                                                                                                                                                                                                        |                                    |           |
| 5/19<br>(木) | 10:00～11:30 | 相互結合網 (1)                                                                                                                                                                                                  | データ分割と局所化                          | 計算アルゴリズム  |
|             | 11:30～12:50 | 昼食                                                                                                                                                                                                         |                                    |           |
|             | 12:50～14:20 | 招待講演(2)<br><i>Ab Initio Solid State Physics and Chemistry on Parallel Computers: Fascination and Importance</i><br>Ivan Stich (Angstrom Technology Partnership)                                            |                                    |           |
|             | 14:20～14:40 | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |           |
|             | 14:40～16:10 | 相互結合網 (2)                                                                                                                                                                                                  | 小パネル(1):<br>「並行」と「並列」              |           |
|             | 16:10～16:40 | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |           |
|             | 16:40～18:10 | 分散共有メモリ<br>アーキテクチャ                                                                                                                                                                                         | デバッガ・その他                           | 負荷分散方式と評価 |
| 5/20<br>(金) | 10:00～11:30 | キャッシュ<br>コヒーレンスと同期                                                                                                                                                                                         | 分散共有メモリ<br>ソフトウェア                  | 探索アルゴリズム  |
|             | 11:30～12:50 | 昼食                                                                                                                                                                                                         |                                    |           |
|             | 12:50～14:20 | 小パネル(2):<br>超並列計算機用<br>プロセッサアーキテクチャ                                                                                                                                                                        | 並列オペレーティング<br>システム                 |           |
|             | 14:20～14:50 | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |           |
|             | 14:50～17:10 | パネル討論(1):<br>並列処理の教育<br>(含並列処理コンテスト<br>入選作発表)                                                                                                                                                              | パネル討論(2):<br>誰が並列計算モデルを<br>構築するのか？ |           |
|             | 17:10～17:20 | 閉会の辞・プログラム委員長挨拶                                                                                                                                                                                            |                                    |           |

# JSPP'94 プログラム

第 1 日 5 月 18 日 (水)

- ◇ 開会の辞・実行委員長挨拶 (12:30～12:40, A 会場) ..... 小柳 義夫
- ◇ 招待講演 (1)(12:40～14:00, A 会場) ..... 座長: 雨宮 真人 (九大)
  - The Convergence of Parallel and Distributed Computing: What it means for High Performance Architecture, Operating Systems and Languages. Greg Papadopoulos (MIT/Thinking Machines Co.)
- ◇ 命令レベル並列処理 (14:30～16:00, A 会場) ..... 座長: 柴山 潔 (京都工繊大)
  - 命令レベル並列アーキテクチャのための大域的コードスケジューリング技法とその評価  
古関 聰 (早大), 小松 秀昭 (日本 IBM), 深澤 良彰 (早大)
  - ハイパスカラ・プロセッサ・アーキテクチャ — プロトタイプ的设计および性能評価 —  
弘中 哲夫, 斎藤 靖彦, 宮嶋 浩志, 村上 和彰 (九大)
  - ループに条件分岐を含む場合の最適なソフトウェア・パイプラインニング 山下 義行, 中田 育男 (筑波大)
- ◇ 細粒度言語実装 (14:30～16:00, B 会場) ..... 座長: 中島 浩 (京大)
  - Scheduling Fine-Grain Threads with Single Stack on Stock CPUs 田浦 健次郎, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - 超並列計算機上の高効率な大域的ガーベジコレクション 鎌田 十三郎, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - 超並列 V 言語とその実行方式 日下部 茂, 高橋 英一, 谷口 倫一郎, 雨宮 真人 (九大)
- ◇ 並列アルゴリズム (14:30～16:00, C 会場) ..... 座長: 今井 浩 (東大)
  - Disjoint Paths in Hypercubes and Star Graphs  
Shietung Peng, Qian Ping Gu, Satoshi Okawa (The Univ. of Aizu)
  - Dynamic Tree Embeddings in d-Way Shuffles and Star Graphs David S. L. Wei (The Univ. of Aizu)
  - A Routing Algorithm in a Faulty n-Rotator Graph  
Peter Yamakawa, Hiroyuki Ebara, Hideo Nakano (Osaka Univ.)
- ◇ システムアーキテクチャ (16:30～18:00, A 会場) ..... 座長: 島田 俊夫 (名大)
  - 汎用細粒度並列計算機: お茶の水 1 号 — 構成と性能評価 —  
戸塚 米太郎, 大津 金光, 中里 学, 秋葉 智弘, 松本 尚, 平木 敬 (東大)
  - 細粒度スレッド処理のためのコンテキストスイッチ機構 — 並列計算機 Datarol-II の階層メモリシステム —  
川野 哲生, 日下部 茂, 谷口 倫一郎, 雨宮 真人 (九大)
  - ボリュームレンダリング専用並列計算機のアーキテクチャ  
對馬 雄次, 金 喜都, 薄田 昌広, 黒田 知宏, 森 眞一郎, 中島 浩, 富田 眞治 (京大)
- ◇ 並列オブジェクト実装 (16:30～18:00, B 会場) ..... 座長: 松岡 聡 (東大)
  - 並列オブジェクト指向言語 mosaic とマルチワークステーション上の実装 小倉 毅, 瀧 和男 (神戸大)
  - 並列プログラミング言語 MPC++ の実現 石川 裕, 堀 敦史, 小中 裕喜, 前田 宗則, 友清 孝志 (RWC)
  - 超並列オブジェクトベース言語 OCore の商用並列計算機上での実装  
小中 裕喜, 石川 裕, 友清 孝志, 前田 宗則, 堀 敦史 (RWC)
- ◇ 懇親会 (18:30～20:30, ホテルグランド東雲内会場) .....

## 第2日 5月19日(木)

- ◇ 相互結合網 (1)(10:00～11:30, A 会場) ..... 座長: 天野 英晴 (慶大)  
 ● 超並列向け相互結合網 MDCE の提案と評価 ..... 横田 隆史, 松岡 浩司, 岡本 一見, 廣野 英雄, 坂井 修一 (RWC)
- ハイバクロスバ・ネットワークにおける転送性能向上のための手法とその評価  
 ..... 朴 泰祐, 曾根 猛, 三島 健, 板倉 憲一, 中澤 喜三郎, 中村 宏 (筑波大)
- プログラム最適化技法適用下における並列計算機結合形状の性能評価 ..... 武本 充治, 松本 尚, 平木 敬 (東大)
- ◇ データ分割と局所化 (12:50～14:20, B 会場) ..... 座長: 佐藤 三久 (電総研)  
 ● マルチグレイン並列処理におけるデータローカライゼーション手法  
 ..... 吉田 明正, 前田 誠司, 尾形 航, 笠原 博徳 (早大)
- VPP Fortran: 分散メモリ型並列計算機言語 ..... 岩下 英俊, 進藤 達也 (富士通研), 岡田 信 (富士通)
- Twisted Data Layout ..... 進藤 達也, 岩下 英俊, 土肥 実久, 萩原 純一 (富士通研)
- ◇ 計算アルゴリズム (10:00～11:30, C 会場) ..... 座長: 田中 輝雄 (日立)  
 ● 超並列計算機における弱い同期による偏微分方程式の計算アルゴリズム  
 ..... 佐藤 隆士 (大阪教育大)
- 直方体の角の 8 個の格子点を使う変形差分近似の理論と応用 ..... 藤野 清次, 竹内 敏己 (花王)
- LINPACK ベンチマークの並列ベクトル処理 — 並列計算機 AP1000 用数値演算アクセラレータによる実現 —  
 ..... 上村 和人 (富士通研)
- ◇ 招待講演 (2)(12:50～14:20, A 会場) ..... 座長: 小柳 義夫 (東大)  
 ● Ab Initio Solid State Physics and Chemistry on Parallel Computers: Fascination and Importance  
 ..... Ivan Stich (Angstrom Technology Partnership)
- ◇ 相互結合網 (2)(14:40～16:10, A 会場) ..... 座長: 朴 泰祐 (筑波大)  
 ● SSS-MIN に基づくマルチプロセッサ SNAIL の実装と評価  
 ..... 笹原 正司, 寺田 純, 大和 純一, 塙敏 博, 天野 英晴 (慶大)
- 多重出力可能な MIN の性能評価 ..... 塙 敏博, 天野 英晴 (慶大)
- 優先度先送り方式による実時間相互結合網用ルータチップの実現と性能  
 ..... 戸田 賢二, 西田 健次, 高橋 栄一 (電総研), Nick Michell (The Univ. of Utah), 山口 喜教 (電総研)
- ◇ 小パネル (1)(14:40～16:10, B 会場) ..... 座長: 上田 和紀 (早大)  
 ● 「並行」と「並列」: モデルと実践の結びつきを目指して  
 ..... パネリスト (順不同), 村上昌己 (岡山大), 松岡 聡 (東大), 中島 浩 (京大), 関口智嗣 (電総研)
- ◇ 分散共有メモリ アーキテクチャ (16:40～18:10, A 会場) ..... 座長: 平木 敬 (東大)  
 ● 並列計算機 EM-4 上での共有メモリベンチマークの実行 — リモートメモリアクセスとマルチスレッド —  
 ..... 佐藤 三久, 児玉 祐悦 (電総研), 坂井 修一 (RWC), 山口 喜教 (電総研)
- 高並列計算機 EM-X のリモートメモリ参照機構の評価  
 ..... 児玉 祐悦, 坂根 広史, 佐藤 三久 (電総研), 坂井 修一 (RWC), 山口 喜教 (電総研)
- PUT/GET インターフェースのハードウェアサポートによる並列プログラムの効率的実行  
 ..... 林 憲一, 石畑 宏明, 堀江 健志, 清水 俊幸, 小柳 洋一, 今村 信貴, 白木 長武 (富士通研)
- ◇ デバッグ・その他 (16:40～18:10, B 会場) ..... 座長: 市吉 伸行 (三菱総研)  
 ● 適応的再演型ロック命令を用いた並列プログラムデバッグの実現 ..... 三栄 武, 高橋 直久 (NTT)
- 並列論理型言語 Fleng のパフォーマンス・デバッグ ..... 館村 純一, 小池 汎平, 田中 英彦 (東大)
- 並列計算機 EM-4 における多段先行評価の分散制御方式  
 ..... 山名 早人, 佐藤 三久, 児玉 祐悦, 坂根 広史 (電総研), 坂井 修一 (RWC), 山口 喜教 (電総研)
- ◇ 負荷分散方式と 評価 (16:40～18:10, C 会場) ..... 座長: 安浦 寛人 (九大)  
 ● Data Parallelization of Particle-In-Cell Code ..... D. Cai, N. Asai, Y. Miyazaki (筑波大), T. Itoh (神戸大)
- 並列 LSI ルーター PROTON2 — 並列マシン Cenju2 上での評価 —  
 ..... 山内 宗, 石塚 昭夫, 中田 登志之, 高見 沢一彦, 小池 誠彦 (NEC)
- LSI 配線プログラムを用いた並列推論マシン PIM/c の負荷分散方式の評価  
 ..... 朝家 真知子, 中川 貴之, 垂井 俊明, 井門 徳安, 杉江 衛 (日立)

## 第3日 5月20日(金)

- ◇ **キャッシュ コヒーレンスと 同期** (10:00～11:30, A 会場) ..... 座長: 村上 和彰 (九大)
- アップデート型コヒーレンス制御の評価 ..... 細見 岳生, 森 眞一郎, 中島 浩, 富田 眞治 (京大)
  - SBM 同期機構を用いた新たな同期方式 (One-PE 同期方式) の提案 ..... 早川 潔, 増村 均, 清弘 智昭, 本多 弘樹 (山梨大)
  - Performance Analysis of a Data Diffusion Machine with High Fanout and Split Directories ..... Hitoshi Oi, Henk L. Muller, Paul W.A. Stallard, Jorge Buenabad, David H.D. Warren (Univ. of Bristol)
- ◇ **分散共有メモリ ソフトウェア** (10:00～11:30, B 会場) ..... 座長: 岸本 光弘 (富士通研)
- ソフトウェア DSM におけるコヒーレント・キャッシュシステムの実装と評価 ..... 藏前 健治, 中條 拓伯, 前川 禎男 (神戸大)
  - 分散共有メモリモデルに基づく HPC 環境の高性能実装と性能評価 ..... 大西 淑雅, 了戒 清, 末吉 敏則 (九州工大)
  - メモリ管理と協調動作する 2 レベルスケジューリング ..... 甲斐 久淳, 藤本 亮介 (九大), 福田 晃 (奈良先端大)
- ◇ **探索アルゴリズム** (10:00～11:30, C 会場) ..... 座長: 瀧 和男 (神戸大)
- 並列制約論理型言語 PARCS の最適化問題・組合せ問題への応用 ..... 長塚 雅明, 今野 和浩, 小林 直樹, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - 高並列計算機上での最尤法による分子系統樹の作成 ..... 松田秀雄, 金田悠紀夫 (神戸大)
  - 超並列計算機を用いた全文検索法の検討 ..... 佐藤 理史, 河瀬 剛 (北陸先端大)
- ◇ **小パネル (2)** (12:50～14:20, A 会場) ..... 座長: 小柳 滋 (東芝)
- 超並列計算機用プロセッサアーキテクチャ ..... パネリスト (順不同), 岡本一晃 (RWC), 中村 宏 (筑波大), 松本 尚 (東大)
- ◇ **並列 オペレーティングシステム** (12:50～14:20, C 会場) ..... 座長: 福田 晃 (奈良先端大)
- 分散共有記憶型超並列オペレーティングシステム COS マイクロカーネルの保護機構 ..... 猪原 茂和, 松岡 聡, 松本 尚 (東大)
  - 協調的オペレーティングシステム COS の開発環境 ..... 村山 正之, 斎藤 信男 (慶大)
  - 大域的仮想仮想記憶 (GVVM) のマルチプロセス環境での評価 ..... 平野 聡, 田沼 均, 須崎 有康, 一杉 裕志 (電総研)
- ◇ **パネル討論 (1)** (14:50～17:10, A 会場) ..... 座長: 村岡 洋一 (早大)
- 並列処理の教育 (含並列処理コンテスト入選発表) ..... パネリスト (順不同), 小柳 義夫 (東大), 近山 隆 (ICOT), 柴山 潔 (京都工繊大), 長嶋雲平 (お茶の水女子大), 村上和彰 (九大)
- ◇ **パネル討論 (2)** (14:50～17:10, B 会場) ..... 座長: 安浦 寛人 (九大)
- 「誰が並列計算モデルを構築するのか? ..... アーキテクトか, プログラマか, 理論家か」 ..... パネリスト (順不同), 五十嵐 善英 (群馬大), 阿曾 弘具 (東北大), 坂井 修一 (RWC), 米澤 明憲 (東大)
- ◇ **閉会の辞・プログラム委員長挨拶** (17:10～17:20, A 会場) ..... 雨宮 真人

## ◆ JSPP '94の宿泊について

大会期間中の宿泊 (18日夜～20日朝) は, 下記のホテルについてはある程度の部屋を確保してあります。

| ホテル名       | 宿泊料金                        | 電話番号          |
|------------|-----------------------------|---------------|
| ホテルグランド東雲  | シングル 7,000円 (税, サービス, 朝食込)  | (0298)56-2211 |
|            | ツイン 14,000円 (税, サービス, 朝食込)  |               |
| ホテルニュー鷹    | シングル 6,500円 (サービス込, 税, 朝食別) | (0298)51-4788 |
|            | ツイン 11,000円 (サービス込, 税, 朝食別) |               |
| ホテルサンルート筑波 | シングル 7,364円 (税, サービス込, 朝食別) | (0298)52-1151 |
|            | ツイン 13,256円 (税, サービス込, 朝食別) |               |

宿泊ご希望の方は, 4月20日までに, 各ホテルに直接お申込みください。その際に, 必ず「JSPPでの宿泊である」旨を伝えてください。

また, その他にもたとえば次のようなホテルなどが利用可能です。ただし, 扱いは一般の宿泊の扱いとなりますのでご注意ください。

- ・筑波第一ホテル Tel. (0298)52-1112
- ・ホテル諏訪 Tel. (0298)36-4011
- ・デイリーイン筑波学園 Tel. (0298)51-0003

## 夏のプログラミングシンポジウムのお知らせ

今年の夏のシンポジウムは以下のように「娯楽とコンピュータ」というテーマで行うことにします。ふるってご参加ください。

Johan Huizingaが人類をHomo Ludens（ホモ・ルーデンス、遊戯人）と呼んだように、人間には本性的に遊びの心があり、すべてのものを遊びの対象にします。実用の道具としてスタートしたコンピュータも例外ではありません。しかも、最近は家庭にコンピュータが浸透するようになり、ファミコンに代表されるような娯楽のためのコンピュータが大きなビジネスになってきました。しかし、楽しむ対象という意味では、もっと大きな可能性がコンピュータに秘められていると思います。

本シンポジウムでは、コンピュータと（広い意味での）娯楽との関わりをいろいろな観点から議論しようと思います。発表が期待される分野は以下のようなもので、多少粗削りのものが（むしろ）歓迎されます。もちろん、このシンポジウムのテーマに関係があれば以下のもの以外でもふるってご発表ください。

- ・コンピュータを道具とする娯楽（楽しみ）――次のキーワードに「娯楽としての」あるいは「娯楽のための」を冠してみてください。  
[キーワード] コンピュータゲーム、AIとしてのゲーム、コア戦争、パズル、コンピュータアニメ、コンピュータグラフィックス、コンピュータ音楽、人工生命、仮想現実感、ネットワークゲーム、マルチメディア、コンピュータ制御ギャンブル、マイクロマウス、ロボット競技会、・・・
- ・コンピュータそのものを対象とする娯楽（楽しみ）  
[キーワード] ソフト／ハードのコレクション、道楽としてのプログラミング、ハッカーとクラッカー、コンピュータおたく、・・・
- ・コンピュータに関係したレクリエーション数学（そういえば、有澤誠さんが「コンピュータレクリエーション」という本を書いたことがあります）
- ・娯楽とコンピュータに関する、文化論的、社会学的、心理学的考察  
テーマがテーマですので、発表も議論もできるだけ楽しくやりたいと思います。

日 時：平成6年7月27日（水）午後1:00～29日（金）12:00

場 所：NTTゆかり荘（〒248 神奈川県鎌倉市材木座5-7-5，Tel. (0467)22-0038）

夏は由比が浜の海の家になるほど海に近い宿です（徒歩3分）。鎌倉駅から海側へ徒歩20分弱ですが、バス便があります。

定 員：60名

参加費：30,000円

発表ご希望の方は、題名、内容のあらまし、発表者の氏名、性別、所属、連絡先（できればe-mail addressも）を5月27日（金）までに情報処理学会シンポジウム係（〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27階 Tel. (03)5322-3535，Fax. (03)5322-3534）までお送りください。また、発表を聞くだけの参加はその旨を明記してお申込みください。

幹事：竹内 郁雄（NTT）Fax. (0462)40-4708，e-mail:nue@ntt-20.ntt.jp

（e-mail は、山崎 憲一（NTT）yamazaki@nuesun.ntt.jpにもccで送っていただければありがたいと思います。）

## 「グラフィクスとCAD」シンポジウム論文募集 －CGの新しいパラダイムを求めて－

グラフィクスとCADの研究開発は近年ますます盛んとなり、基礎、応用、ハードウェアなどの分野で多くの興味深い話題を提供しております。当学会では過去11回、標記シンポジウムを開催し、多数の研究者、技術者の参加を得て大きな成果を得てまいりました。本年も下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、グラフィクスとCADの分野における最新の成果、新しい手法の提案、今後の展開、先端技術の追求など、活発な意見交換や議論を喚起する、興味深い論文の応募をお願いいたします。

### 記

- |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 平成6年9月21日（水）～22日（木）9時～18時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 会場   | 工学院大学新宿校舎312教室（東京都新宿区西新宿）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 主催   | 情報処理学会 グラフィクスとCAD研究会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| テーマ  | <p>主要なテーマは以下の通りですが、必ずしもこれらに限りません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフィクスの基礎<br/>表示、レンダリング、グラフィクス入力、データ構造とデータベース、計算幾何学</li> <li>・グラフィクスシステム<br/>グラフィクス言語とソフトウェア、ディスプレイ、入力デバイス、ワークステーション、ヒューマンインタフェース、標準化</li> <li>・グラフィクスの応用<br/>アニメーション、アート、フラクタル、ビジネスグラフィクス、人工現実感、人物や自然物の表示、文書や画像の処理、サイエンティフィックビジュアライゼーション、マルチメディア</li> <li>・CAD<br/>設計方法論、形状モデリング、ソリッドモデリング、図面の入力と処理、エンジニアリングデータベース、インテリジェントCAD、システム構成法</li> </ul>                                                                                   |
| 実施方法 | <p>(1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、新しい試み、提案などさまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。</p> <p>(2) 論文内容がよく伝わるような論文概要をA4判用紙2枚以内（2000字程度で和文に限る）にまとめたものを、下記の期日までに提出してください。<br/>この用紙には、題名、氏名、所属、連絡先、分野を示すキーワードも併記してください。</p> <p>(3) 応募された論文概要を基に、シンポジウム実行委員会で審査いたします。<br/>採択されたものについては、本論文（カメラレディ、本学会研究会様式で10ページ以内）を提出していただきます。カラーページも利用できますが、有償となります。</p> <p>(4) 採択された論文は、研究賞の対象になります。</p> <p>(5) スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文概要提出締切 平成6年4月30日（土）必着</li> <li>・論文審査結果通知 同6月中旬</li> <li>・カメラレディ原稿締切 同7月29日（金）必着</li> </ul> |

参加費 グラフィクスとCAD研究会登録会員 12,000円 正会員 15,000円 非会員 25,000円 学生 5,000円  
論文提出先（問合せ先）

（社）情報処理学会「グラフィクスとCAD」シンポジウム係  
〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F  
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

# 第25回画像工学コンファレンス論文募集

— Japan Imaging Technology '94 —

## — 第25回記念大会 —

画像工学コンファレンスは、1970年に第1回が開催されてから今回で25回を迎えることになり、その間、関連学会・研究会の共通の研究発表・討論の場として、日本の画像関係の研究開発に大いに寄与してまいりました。このたび四半世紀の歴史を踏まえ、新たな出発を目指して第25回記念画像工学コンファレンスを開催することにいたしました。関連学会研究会の会員諸氏の積極的な発表・応募をお願いします。

日 時 1994年12月7日(水)・8日(木)・9日(金)

場 所 ABC会館ホール(東京・港区・芝公園)

構 成 招待講演と応募による一般講演(口頭発表、ポスタ発表)によりおこないます。ポスタ発表とはポスタ会場の決められた場所で行表・写真・実物等を示し、興味を持つ聴衆と自由に質疑・討論を交わしながら研究発表をおこなうものです。招待および一般講演については「募集論文の内容」欄の項目に沿い約10セッションにまとめる予定です。また本年は25周年記念大会として各種の特別セッションを予定しております。講演はすべてオーディオビジュアル機器、三次元スライドなどを用いたデモンストレーションができます。なおポスタ発表のなかで優秀な発表に対して賞を贈ります。

募集論文の性格 論文として未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報などは差支えありません。

募集論文の内容 画像に関する諸技術: ①画像入力、ディスプレイ、記録、印刷等に関する画像エレクトロニクス技術 ②視聴覚、画像符号化、画像計測、画像処理、コンピュータビジョン、三次元画像、コンピュータグラフィックス、映像表現等に関する画像情報技術 ③放送・通信・医用・産業・教育などの分野への応用

応募資格 とくにありません。

参 加 費 1万2千円(加盟学会会員) 1万5千円(非会員) 6千円(学生) 論文集を含みます

応募論文の審査 応募論文はプログラム委員会において申込時提出の内容概要で審査いたします。また、プログラム編成上、口頭発表とポスタ発表との変更をお願いすることがあります。

発表形式・時間 口頭発表: 質疑応答を含め20分(予定) ポスタ発表: ポスタ会場での発表討議90分(予定)

講演申込方法 A4横書でタイトル・著者・図表などを含め2枚以内の内容概要と、必要事項を記入した講演申込書(コピー可)を下記の送付先へお送りください。

講演申込締切 1994年7月15日(金) 必着

論文集原稿 採択論文については口頭・ポスタとも、カメラレディ原稿(タイプまたはワープロ)を提出していただきます。

希望によりカラー印刷のページを設けます(ただし実費自己負担)。

原稿やスライドの作成方法などの詳細は8月下旬、論文採否通知とともに連絡します。

論文集原稿締切 1994年10月28日(金) 必着

主 催 第25回画像工学コンファレンス実行委員会

(担当 情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会)

加盟学会・委員会 応用物理学会日本光学会、テレビジョン学会・情報ディスプレイ研究委員会・視聴覚技術研究委員会・画像通信システム研究委員会・画像処理コンピュータビジョン研究委員会、画像応用研究委員会、電気学会・電子デバイス技術委員会・光量子デバイス技術委員会、電子情報通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識理解研究専門委員会、日本ME学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会、日本医用画像工学会、SPIE日本支部、三次元映像のフォーラム、ホログラフィックディスプレイ研究会。

送付先・問い合わせ先 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル 連企画気付  
「第25回画像工学コンファレンス事務局」 ☎03(3433)2543 FAX 03(3433)3904

|                                                                                                                           |                                                                                                 |      |                      |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------|--|
| 題 目                                                                                                                       |                                                                                                 |      | 第25回画像工学コンファレンス講演申込書 |  |
|                                                                                                                           |                                                                                                 |      | 〒                    |  |
|                                                                                                                           |                                                                                                 |      | 所在地                  |  |
| 発表形式<br>の希望<br><br><input type="checkbox"/> ポスタ<br><br><input type="checkbox"/> 口 頭<br><br><input type="checkbox"/> どちらでも | 使用機器                                                                                            | ☎ :  |                      |  |
|                                                                                                                           | <input type="checkbox"/> VTR<br>(VHS)                                                           |      | 機関名                  |  |
|                                                                                                                           | <input type="checkbox"/> スライド<br>(35mm)                                                         | FAX: |                      |  |
|                                                                                                                           | <input type="checkbox"/> OHP <input type="checkbox"/> パソコン(PC) <input type="checkbox"/> 三次元スライド |      | 所 属                  |  |
|                                                                                                                           | <input type="checkbox"/> その他 ( )                                                                |      | 連絡者氏名                |  |



## CALL FOR PAPERS

## The Second International Symposium on Autonomous Decentralized Systems

April 25-27, 1995  
Phoenix, Arizona, USA

## ISADS 95

Sponsored by  IEEE Computer Society

 The Institute of Electrical & Electronics Engineers, Inc.

 Information Processing Society of Japan

 The Society of Instrument and Control Engineers of Japan

Cooperation with  International Federation of Automatic Control

 International Federation for Information Processing

## General Chair

Stephen S. Yau, U. of Florida, USA  
Fax: 1-904-392-1220  
Email: yau@cis.ufl.edu

## Sponsors

Isanori Ozeki, RTRI, Japan (IPSJ)  
Sunobu Ichikawa, NIES, Japan (SICE)

## Program Committee

Air: Joseph E. Urban, Arizona State U., USA  
see submission address)  
Chair: Hideo Aiso, Keio U., Japan  
Chair: Radu Popescu-Zeletin, T.U. Berlin, Germany  
Chair: Ahmed Tantawy, IBM Research, USA  
Jacek Cellary, Franco Polish School, Poland  
Chand, Rockwell International Corp., USA  
W. Cho, KAIST, Korea  
Cooke, U. of Texas-El Paso, USA  
J. Farber, U. of Pennsylvania, USA  
Ferrari, UC Berkeley, USA  
Fujita, Tokyo U., Japan  
Ghosh, Brown U., USA  
Hoskins, Allen-Bradley, USA  
Imamichi, Mitsubishi, Japan  
Jensen, Digital Equipment Corp., USA  
Kim, UC Irvine, USA  
Kopetz, TU of Vienna, Austria  
Robert Lai, Int. Soft. Proc. Cons., USA  
Mahabala, Ind. Inst. Tech., India  
Mori, Hitachi, Japan  
Nett, GMD, Germany  
Nishikawa, Kyoto U., Japan  
Oliveira, U. of Porto, Portugal  
Dyke H. Parunak, Industrial Tech. Inst., USA  
Pasquale, UC San Diego, USA  
Ramamoorthy, UC Berkeley, USA  
Reed, DACS, USA  
Schlichting, U. of Arizona, USA  
Shiratori, Tohoku U., Japan  
Simoncini, U. of Pisa, Italy  
Tamura, Toshiba, Japan  
Wei Wang, Beijing Inst. Sys. Eng., China  
Jian Wang, National Chiao Tung U., Taiwan

## Organizations Committee

Trantina Calliss, Arizona State U., USA  
Calliss, Arizona State U., USA  
Mori, Hitachi, Japan

## Scope

Due to the continuing growth in the power, intelligence and openness of computer, communication and control technologies, highly efficient and dependable business and control systems are realized. Dynamically changing social and economic situations demand next-generation systems based on emerging technologies and applications. Such systems are expected to have the characteristics of living systems composed of largely autonomous and decentralized components. Such systems are called Autonomous Decentralized Systems (ADS).

After the successful first International Symposium on Autonomous Decentralized Systems held in 1993 in Japan, the second ISADS will be held in Phoenix, Arizona, USA on April 25-27, 1995. ISADS invites papers and panel proposals that will foster increased interactions among researchers and practitioners in computer, communication, control and other related fields from academia, industry and government.

The scope of discussions on ADS shall include, but not be limited to:

- Distributed and parallel computer architectures for ADS;
- Computer-supported cooperative work;
- Intelligent distributed computing/intelligent networks;
- Heterogeneous distributed information systems;
- Software development and maintenance for ADS;
- Fault-tolerance, on-line expansion and maintenance for ADS;
- Component integration in ADS;
- Interactive communication systems/multimedia systems.

## Applications of ADS:

- Manufacturing systems;
- Office automation;
- Robotic systems;
- Transportation (air/land/sea) systems;
- Intelligent Buildings;
- Home information/entertainment systems;
- National health care systems;
- Intelligent vehicle/highway systems.

A plant tour of leading-edge industries is planned as part of Symposium activities on April 28, 1995.

## Information for Authors

- Send 6 copies of an original (not submitted or published elsewhere) paper (double-spaced) with 3000-6000 words to the Program Chair at the address below;
- Papers should include: title, authors, affiliations, and 150-word abstract.
- Identify the author responsible for correspondence, including the author's name, position, mailing address, telephone and fax numbers, and email address;
- One of the authors of each accepted paper must present the paper at ISADS 95.

## Information for Panel Organizers

- Send 6 copies of panel proposal to the Program Chair;
- Panel proposals should include: title, organizer's affiliation, position, mailing address, telephone and fax numbers, email address and a 150-word scope statement, proposed chair and panelists.

## Submission Address

Joseph Urban, ISADS 95 Program Chair, Arizona State University, Tyler Mall - GWC 206, Dept. of Computer Science and Engineering, Tempe, AZ 85287-5406, USA  
For program information: Email: jurban@asuvox.eas.asu.edu; Phone: 1-602-965-2774, Fax: 1-602-965-2751

## Important Deadlines

- **August 1, 1994:** All paper and panel proposals due.
- **September 5, 1994:** Panel organizers notified of acceptance.
- **September 27, 1994:** Organizers of accepted panel proposals provide final information on session chairperson and panelists.
- **October 23, 1994:** Authors notified of acceptance.
- **December 29, 1994:** Camera-ready copies of accepted papers and panelists' position papers due.

平成 6 年度予算(案)決定

平成 6 年 3 月 日本学術会議広報委員会

今回の日本学術会議だよりでは、第16期の会員推薦関係費、アジア学術会議開催経費などを計上した平成 6 年度予算及び最近公表された「調査報告 我が国における学術団体の現状」等についてお知らせします。

平成 6 年度日本学術会議予算

平成 6 年度日本学術会議の予算額は、総額で12億128万 7 千円で閣議決定されました。前年度と比較して 1 億546万円の増。率にして9.6%の伸びです。これは、平成 6 年度が第16期の会員推薦期に当たり、会員の推薦に必要な経費、臨時総会及び臨時部会等の会員推薦関係費が8,048万 1 千円増額し1億 5 万 5 千円になったことが主な事由です。

また、アジア学術会議の開催に必要な経費が、前年度に引き続き2,219万 5 千円が認められました。

その他、平成 6 年度予算では、国際分担金の16団体に対する単位額の変更が認められ、国際会議の国内開催については、神経・筋、園芸学、錯体化学、心電学、情報ドキュメンテーション、病態生理学の 6 国際会議の開催を予定しています。

また、世界各地で開催される学術関係国際会議への代表派遣や二国間交流に必要な経費が計上されています。

平成 6 年度予算概算決定額表は、下表のとおりです。

(単位：千円)

| 事 項             | 前 年 度<br>予 算 額<br>A | 平成 6 年度<br>予 算 額<br>B | 比 較 増<br>△ 減 額<br>C = B - A | 備 考                                     |
|-----------------|---------------------|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------------------|
| 日本学術会議の運営に必要な経費 | 1,095,827           | 1,201,287             | 105,460                     | 対前年度比較<br>109.6%                        |
| 審 議 関 係 費       | 265,525             | 272,534               | 7,009                       | ○地球圏・生物圏国際協同研究計画<br>(IGBP)シンポジウム、公開講演会等 |
| 国際学術交流関係費       | 221,254             | 226,646               | 5,392                       |                                         |
| 国 際 分 担 金       | 74,722              | 67,450                | △ 7,272                     |                                         |
| 国 内 開 催         | 73,543              | 86,172                | 12,629                      |                                         |
| 代 表 派 遣         | 44,006              | 44,006                | 0                           |                                         |
| 二 国 間 交 流       | 6,823               | 6,823                 | 0                           |                                         |
| アジア学術会議         | 22,160              | 22,195                | 35                          |                                         |
| 会 員 推 薦 関 係 費   | 19,574              | 100,055               | 80,481                      |                                         |
| 会 員 推 薦 管 理 会   | 19,102              | 21,632                | 2,643                       |                                         |
| 推 薦 経 費         | 472                 | 57,629                | 57,393                      |                                         |
| 臨 時 審 議 経 費     | 0                   | 21,007                | 21,007                      | ○第16期推薦経費<br>○臨時総会、臨時部会                 |
| 一 般 事 務 処 理 費   | 589,474             | 602,052               | 12,578                      |                                         |

## 第4 常置委員会報告—調査報告 我が国における学術団体の現状(要旨)

平成6年1月26日

学会協会等の学術団体は各専門分野の学術の進展において重要な役割を果たしており、加えて、日本学術会議の会員候補者を推薦し、また、研究連絡委員会に委員を送るなど、日本学術会議の基盤となっています。第4 常置委員会は、学術団体の活性化・活動強化等のための支援方策を検討するに当たって、学術全分野における学術団体の現状を知る必要を認め、調査を行いました。調査票は選択肢方式の9項目44設問にわたる詳細なものでありましたが、調査対象とした日本学術会議広報協力学術団体1069団体の70%にあたる750団体から回答を得ました。分析結果を対外報告「調査報告 我が国における学術団体の現状」として今回公表しました。

報告書は、(1)専門分野、(2)会員、(3)設置形態と組織形態、(4)活動状況、(5)国際性、(6)財政状態、(7)学術団体の属性にみる専門分野の類似性、(8)学術団体への支援について、及び「附属資料」よりなっています。報告では、学術団体の諸属性を、全団体平均に加えて、専門分野別と団体規模別に比較しています。63頁にわたる報告書の内容を簡潔に要約することは困難ですが、以下にその一端を紹介します。

学術団体の数は文学系及び医学系の分野で多く、法学系及び経済学系で少ない。2つ以上の専門分野にまたがる団体の割合は文学系及び医学系で少なく、理学及び工学で多い。平均正会員数は全団体平均で約2.5千人、人文科学部門で0.7～1千人、理学及び農学で1.7～2.5千人、工学及び医学系では約4千人である。

全団体の約20%が法人である。法人の割合は団体の規模の増大とともに急速に増加する。工学において特に高く、人文科学部門で低い。フルタイムに換算した事務職員数は正会員数に比例し、全団体平均でみれば正会員千人あたり0.71人である。事務所面積は正会員数に比例し、全団体についてみれば、基本面積が27㎡で、正会員千人あたり1.7㎡である。

会誌の発行は最も普遍的な活動で95%の団体に見られる。人文科学部門ではやや低く、理学及び工学においてやや高い。論文誌の発行は約27%の団体で行われており、経済学系、理学及び工学において割合が高い。書籍の出版は15%の団体で行われており、理学、工学及び農学で高い。その他の活動のうち、社会人教育は19%の団体で行われており、理学及び工学に多く、経済学系及び医学系で少ない。

国際集會を主催した経験をもつ団体は51%である。団体の規模が大きいほどその割合は高い。専門分野別で見れば、文学系及び法学系において低く、理学、工学及び農学で高い。国際集會を開催する上での困難の第1位は「経費の調達」で84%に達している。会誌あるいは論文誌を何らかの意味で国際的に開放しているのは85%の団体にみられる。

団体の財政規模を正会員数で割った額は全団体平均で29千円で、文学系及び経済学系において10～15千円、理学及び工学で高く48～57千円に達する。平成3年度における実質収支(繰り越しを除く)での赤字団体は全体の約3分の1であり、予算規模の10%以上の赤字をもつ団体が7%ある。外部からの支援を必要とする事業は、成果刊行が最大で60%、次が国際活動で30%である。団体の規模が大きくなると、国際活動への支援要求の割合が高まる。具体的な支援方策としては、学術団体の活動が円滑に進むよう制度等を整備する方法、特に、学術団体に対する課税及び学術団体への寄付者への課税を緩和する方策が効果的と考えられる。

終わりに、この調査に御協力を頂いた学術団体の担当者の方々に深く感謝申し上げる次第です。

## 第16期日本学術会議会員のための 登録学術研究団体の概況

日本学術会議では、現在、第16期(平成6年7月22日～平成9年7月21日)会員(定員210人)選出のための手続が進められていますが、その第1段階として、昨年(平成5年)5月末日を締切期限として、学術研究団体からの登録申請の受付が行われました。これらの登録申請については、日本学術会議会員推薦管理会において審査が行われましたが、その結果は次のとおりでした。

- ・申請団体数……………1110団体
- ・登録団体数……………1069団体

「日本学術会議だより」について御意見、お問い合わせ等がありましたら、下記までお寄せください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34

日本学術会議広報委員会 電話03(3403)6291

学会誌掲載記事の電算化について

学 会 誌 編 集 委 員 会

学会誌編集委員会では、編集事務の合理化と将来の電子出版を展望して、学会誌掲載記事の電算化をすすめております。

電算化の第1段階としてまず、従来の活字組みから電算写植への切替えに着手することとし、会告・本会記事および書評・文献紹介、論文誌アブストラクトについてはすでに実施いたしました。

本文記事については平成6年度中の実施を目指し、現在機関誌原稿執筆案内の改訂作業等をすすめております。電算写植に移行後は、執筆者に原稿の送付方法を下表の中から選択していただくことになります。

|    | 事務局への提出方法                       |                | 著 者 校 正                                        |
|----|---------------------------------|----------------|------------------------------------------------|
|    | 本 文                             | 図・表・写真         |                                                |
| 1. | MS－DOSファイル形式の3.5インチフロッピーおよび印字原稿 | プリントされたオリジナル原稿 | 文字データは変換するため基本的に校正の必要はない。<br>図・表は組版するので、校正が必要。 |
| 2. | e－mailおよび印字原稿                   |                |                                                |
| 3. | 手書き原稿                           |                | 本文・図・表とも組版するので、校正が必要。                          |

電算写植は活字とは少しフォントが変わりますが、仕上がり状態はほとんど変わりません。かえって1., 2.の方法は原稿がそのまま生かされるため、執筆者もゲラ校正の負担が減少するなど、メリットは大きいと考えますので、できる限り1., 2.の方法による寄稿をお願いいたします。

執筆案内は追って掲載の予定です。詳細は学会誌編集係までお問い合わせください。皆さまのご協力をお願いいたします。

## 学会誌の広告についてお知らせとお願い

情報処理学会では永年にわたり広告代理店を通じて広告掲載のお申し込みをいただいておりますが、最近の経済界全般の不況の影響を受け、このところ学会誌「情報処理」の広告掲載件数が減少し、これに伴う収入の激減が学会経営にも大きな影響を及ぼしております。

そこで本年4月から当分の間、広告掲載の受付事務を直接学会事務局で行い、これによって少しでも広告収入の増加を図ることとしました。もちろんこれと同時に会員の皆さまに役立つ広告掲載数を増やしていくよう努めて参りますので、ご支援をお願いいたします。厳しい経済情勢の中で、私どもの意図がどれだけ実現するか分かりませんが、会員の皆さまにはこうした事情をご理解いただくとともに、学会運営の活性化を図るため、学会誌をはじめ学会運営全般にわたって引き続き有益な情報やご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、広告原稿の体裁、広告料金等は次のとおりです。

### ■体裁

|       |         |
|-------|---------|
| 判 型   | B5判     |
| 発行部数  | 33,000部 |
| 発 行 日 | 毎月15日   |
| 印刷方法  | オフセット   |

### ■広告原稿

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 申込締切日   | 前月10日                |
| 原稿締切日   | 前月20日                |
| 原 稿 寸 法 | 1P 天地225mm×左右150mm   |
|         | 1/2P 天地105mm×左右150mm |
| 原 稿 形 態 | ポジフィルム               |

### ■広告料金表

| 掲 載 場 所           | 色 | スペース | 料 金 (円) |
|-------------------|---|------|---------|
| 表紙2               | 4 | 1    | 300,000 |
| 表紙3               | 4 | 1    | 250,000 |
| 表紙4               | 4 | 1    | 350,000 |
| 表2対向              | 4 | 1    | 270,000 |
| 前付                | 4 | 1    | 250,000 |
| 前付                | 2 | 1    | 150,000 |
| 前付                | 1 | 1    | 120,000 |
| 前付                | 1 | 1/2  | 70,000  |
| 前付最終              | 1 | 1    | 135,000 |
| 目次前               | 1 | 1    | 135,000 |
| 差込み (110kg まで)    |   | 1丁   | 250,000 |
| 差込み (110kg～135kg) |   | 1丁   | 300,000 |

\*上記金額には、消費税は含まれておりません。 断切広告は上記金額の10%増です。

### ■広告申込先

社団法人 情報処理学会 学会誌編集担当係 Tel.(03) 5322 - 3535 Fax.(03) 5322 - 3534

## 新年度にあたって(お願い)

### －会費・購読費の請求、新入会員勧誘など－

新年度にあたって、会員の皆さまに会費等の納入のお願いとともに、つぎの点につきましてご協力いただきますよう、あわせてお願いいたします。

#### (1) 平成6年度会費および論文誌購読費の納入

平成6年度会費および購読費の納付書(郵便振替用紙)を1月中旬に発送いたしましたので、未納の方は早急にご納入いただきますようお願いいたします。

なお、平成7年度会費から自動振替を希望する正会員(一括扱いの会員は除く)の方は、「預金口座振替依頼書」(11月号本欄添付)によりお申込みください。

#### (2) 学会誌等の送本先変更

勤務先、自宅住所に変更のある方は、必ず所定の「変更連絡届」(偶数月号に添付)にて早急にご連絡ください。変更の受付は毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご了承ください。

※会員種別の改定により、平成6年度から大学院博士課程(博士後期課程)まで学生会員として取扱うことになりました。現在博士課程在学中の方は、「変更連絡届」(偶数月号に添付)にてご連絡ください。

#### (3) 論文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)は有料頒布となっておりますが、会員価格にてご購読いただけます。まだ購読されていない方は、「論文誌購読申込書」(1月号添付)によりお申込みください。

#### (4) 退 会

書面(様式任意、はがき可)にてお申出ください。

なお、今年度会費が未納の場合には、送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求させていただきます。退会のお申出がありませんと、会費未納のため本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

※変更、新規購読等のご連絡は必ず会員番号を明記の上、事務局会員係までお願いいたします。

#### (5) 新入会員勧誘のお願い

4月から新入会の特別キャンペーンが実施されます。入会金を無料にする特典を設けましたので、奇数月号末尾綴込みの入会申込書にて入会をご勧誘ください。情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。

詳細につきましては、本号会告「正会員新入会の特別キャンペーンの実施について」もあわせてご覧ください。

## 支 部 だ よ り

## 平成6年度支部総会について

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので、ぜひご出席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、ご欠席の場合には必ず委任状をご返送ください。

| 支 部 | 日 時                     | 会 場                                                     | 講 演 会                                                                                                                                                        |
|-----|-------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道 | 4月22日(金)<br>16:30～17:10 | 北海道大学学術交流会館<br>(札幌市北区北8条西5丁目)                           | 情報処理北海道シンポジウム'94<br>21日～22日(9:00～17:00)<br>・特別講演21日(13:00～14:40)<br>Intelligent Pad<br>ー編集・流通・管理のメディア・アーキテクチャを目指してー<br>田中 譲(北大)<br>・一般講演 21日～22日(9:00～17:00) |
| 東 北 | 5月11日(水)<br>12:00～14:00 | 東北大学工学部電気情報系<br>(仙台市青葉区荒巻字青葉)                           | 14:40～16:10<br>高品質数値計算と自動微分<br>伊理正夫(中央大)                                                                                                                     |
| 東 海 | 5月9日(月)<br>14:30～16:00  | 愛知厚生年金会館<br>(名古屋市千種区池下2-63)                             | 16:00～17:30<br>コンピュータの散歩道(仮題)<br>山田 博(中京大)                                                                                                                   |
| 関 西 | 5月25日(水)<br>13:30～14:00 | NTT情報文化センタ ホール<br>(大阪市北区堂島 3-1-21<br>NTT堂島ビル)           | 14:00～16:00<br>都市計画とコンピュータ・グラフィクス<br>笹田剛史(阪大)                                                                                                                |
| 中 国 | 5月13日(金)<br>13:00～13:30 | 中国電力(株)1号館 2階<br>大会議室<br>(広島市中区小町 4-33)                 | 中国支部創立10周年記念式典(13:45～15:00)<br>特別記念講演(15:00～16:30)<br>宇宙開発の現状と将来<br>中丸邦夫(宇宙開発事業団)                                                                            |
| 四 国 | 5月18日(水)<br>14:30～15:00 | 愛媛大学工学部情報工学科<br>(松山市文京町 3)                              | 15:10～16:50<br>ソフトウェア技術における最近の課題<br>松本吉弘(京大)                                                                                                                 |
| 九 州 | 5月13日(金)<br>13:30～14:30 | NTTデータ通信(株)九州支社<br>3階 301会議室<br>(福岡市博多区博多駅前<br>1-17-21) | 14:30～16:00<br>発見科学の誕生<br>有川節夫(九大)                                                                                                                           |
| 北 陸 | 5月13日(金)<br>14:10～14:50 | 富山大学工学部情報棟<br>1階中会議室<br>(富山市五福 3190)                    | 15:30～16:50<br>経営の中で思うこと<br>中尾哲雄(インテック)                                                                                                                      |

## 東北支部 平成6年度電気関係学会東北支部連合大会

- 期 日 平成6年8月26日(金), 27日(土)  
26日(金) 午前: 一般講演・技術報告  
午後: 一般講演・技術報告, 特別講演 夜: 懇親会  
27日(土) 一般講演・技術報告  
26日, 27日の両日, 展示会(計測機器, 電子通信機器, 電力機器他)
- 会 場 秋田大学鉱山学部キャンパス(〒010 秋田市手形学園町1-1, JR奥羽本線秋田駅よりタクシー約10分)  
講演者は, 主催学会会員に限る。ただし, 連名の場合は会員外を含むことも差し支えない。講演時間は1件15分以内(討論時間を含む)とする。
- 講演内容 一般講演 各専門分野で最近行った研究の発表  
技術報告 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等, 特に現場に直結した実験研究の発表
- 申込方法 (1)「講演申込書」は申出により「原稿用紙 1,600字」「原稿の書き方」と共に渡す。郵送希望の場合は1~2件… 190円, 3~6件… 270円, 7~13件… 390円, 14件以上… 700円分の切手を添えること。  
(2)一般講演および技術報告の予稿集はオフセット印刷とするので, 必ず所定の前稿用紙を使用すること。  
(3)申込件数の制限は1名2件までとする。ただし連名は差し支えない。  
内容が著しく不適当と思われる場合講演を制限する場合がある。  
(4)発表者は講演申込と同時に講演申込金として1件につき, 3,500円を添えて申込むこと。  
(論文集代, 別刷50部代を含む)  
(5)OHPを講演各室に準備する。(希望によりスライドも可)
- 申込・原稿締切日 6月24日(金) 必着厳守(申込書と原稿を同時締切とする)
- 論文集 発表者には, 大会当日受付にて配布する。その他, 購入希望者は, 所要部数を早めに申し込むこと。  
(1部 3,000円, 郵送希望の場合は, 郵送料1部 450円を添えること)
- 申込・問合先 〒980仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学工学部電気情報系学科内  
電気関係学会東北支部連合事務局 Tel. (022)222-1800(ext. 4312) 尾形
- 懇親会 日時・場所 8月26日(金) 18:00~20:00 秋田ターミナルホテル  
会費 一般: 5,000円, 学生 3,000円(予定)  
申し込みは当日大会会場で受付ます。
- 宿泊 特に斡旋はしない。
- 主催 電子情報通信学会・電気学会・日本音響学会・照明学会・テレビジョン学会・情報処理学会各東北支部

## 北陸支部総会・特別講演会

- 期 日 平成6年5月13日(金)
- 会 場 富山大学工学部(富山市五福 3190)
- 通常総会  
時間 14:10~14:50  
会場 中会議室(情報棟1階)
  - 特別講演会  
時間 15:30~16:50  
会場 106講義室(講義棟1階)  
演題 経営の中で思うこと 中尾哲雄((株)インテック社長)
  - 懇親会  
時間 17:10~  
場所 工学部生協  
会費 3,000円

## 教官募集



### ○岩手大学人文社会科学部

募集人員 助教授または講師1名  
 担当科目 文系対象の「社会情報システム論」、一般情報教育、計算機演習等  
 専門分野 特に問わないが、ニューラルネット、人工知能、あるいは自然言語解析等に業績があること  
 応募資格 博士号取得者（含、見込）で35歳以下の方  
 着任時期 平成6年9月1日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（5編以内、共著は本人の寄与部分の説明を添付）、今までの研究概要と今後の教育・研究活動に対する抱負（各1500字以内）、健康状態に関する所見（自己所見可）、本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先（2名）  
 応募締切 平成6年5月20日  
 送付先 〒020 盛岡市上田3-18-34  
 岩手大学人分社会科学部長 小池 稔「情報科学教官応募書類在中」と朱書き書留  
 人分社会科学部 科学論・情報科学 進藤浩一  
 問合せ先 Tel. (0196)23-5171(ext. 2716, 2715)

### ○福岡工業大学電子機械工学科

募集人員 教授または助教授1名  
 担当科目 計測制御工学  
 専門分野 電気・電子工学または機械工学分野  
 応募資格 博士号取得者で大学院での研究・指導が可能な45 歳以下の方  
 着任時期 平成7年4月1日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（著・訳書、論文、総説、学会発表等に分類して、著者名はすべて記述、また査読付き論文とその他の論文を区別）、主要論文別刷（5編程度）、これまでの研究概要および今後の研究に対する抱負（各1000字以内）、推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先  
 応募締切 平成6年5月31日  
 送付先 〒811-02 福岡市東区和白東3-30-1  
 福岡工業大学教務課長 山上 明  
 Tel. (092)606-3131(ext. 2242)  
 Fax. (092)606-8923 「電子機械教員応募書類在中」と朱書  
 問合せ先 電子機械工学科教室主任 溝田武人(ext. 2306)

### ○日本橋女学館短期大学

募集人員 教授1名  
 所 属 秘書科  
 専門分野 経営工学、管理工学、経営学、情報処理等  
 応募資格 50歳以上の方  
 着任時期 平成7年4月1日（今年度中もあり得ます）  
 提出書類 履歴書、教育研究業績書、職務調書（すべて書式あり、ご請求ください）、研究業績5点各1部  
 応募締切 平成6年5月31日  
 送付先 〒277 柏市柏1225-6 日本橋女学館短期大学総務課「教員募集書類在中」と朱書き書留  
 問合せ先 Tel. (0471)67-8655

○東京都立工業高等専門学校電気工学科

募集人員 助手1名  
担当科目 電気工学実験実習（将来は、応用数学、応用物理等も担当）  
専門分野 情報系、制御・メカトロニクス系または電子工学系  
応募資格 博士または修士号取得者かこれと同等の能力・業績があると認められる着任時29歳程度までの方  
着任時期 平成7年4月1日  
提出書類 履歴書、研究業績リスト（論文別刷、論文リスト、参考資料添付）、卒業または修了証明書（含、見込）、大学、大学院等の成績証明書、推薦書  
応募締切 平成6年6月22日  
送付先 〒140 東京都品川区東大井1-10-40  
問合せ先 東京都立工業高等専門学校電気工学科主任  
相沢友勝「電気工学科教員応募書類」と朱書  
Tel. (03)3471-6331 Fax. (03)3471-6338

○福井大学工学部情報工学科

募集人員 助手1名  
所 属 情報システム講座  
専門分野 応用ソフトウェア、人工知能などの関連分野  
応募資格 博士号取得者（含、見込）で30歳までの方  
着任時期 なるべく早い時期  
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、今までの研究概要と今後の研究計画  
応募締切 平成6年6月30日（適任者が得られ次第締め切ることがあります）  
送付先 〒910 福井市文京3-9-1  
福井大学工学部情報工学科長 村瀬一之「情報工学教官応募書類」と朱書し書留  
問合せ先 情報工学科 小倉久和  
Tel. (0776)23-0500(ext. 2615), 27-8582

○筑波技術短期大学電子情報工学科

募集人員 助手1名  
専門分野 電子工学、情報工学、通信工学、物理学（実験系）およびその関連分野  
応募資格 聴覚障害者教育に熱意のある方で、修士課程修了（含、見込）またはこれに相当する経歴・業績を有する方  
着任時期 なるべく早い時期  
提出書類 履歴書、研究業績リスト（ともに書式あり、ご請求ください）、主要論文別刷（2編程度、各2部）、教育・研究に関する抱負と計画、推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先（2名）  
応募締切 平成6年6月30日  
送付先 〒305 つくば市天久保4-3-15  
筑波技術短期大学庶務課人事係  
電子情報工学科 加藤雄士  
Tel. (0298)58-9384 Fax. (0298)58-9394  
その他 本学科は聴覚障害者の教育を行うので、手話等のコミュニケーション手段を有するか、または着任後速やかに習得されることを希望する

## ○早稲田大学理工学部電気工学科

募集人員 教授，助教授または講師1名  
 専門分野 コンピュータハードウェア，OS等  
 応募資格 博士号取得者（含，見込）で，着任時60歳以下の方  
 着任時期 平成7年4月1日以降できるだけ早い時期  
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，今までの研究概要および今後の研究・教育計画  
 応募締切 平成6年6月30日  
 送付先 〒169 東京都新宿区大久保3-4-1  
 早稲田大学理工学部電気工学科事務室内コンピュータ系教員選考委員会 松本 隆  
 問合せ先 Tel. (03)3203-4141(ext. 73-2136)  
 Fax. (ext. 73-4010)

## ○石巻専修大学理工学部電子材料工学科

募集人員 助手1名  
 専門分野 神経情報処理，人工頭脳，ニューロ・コンピュータ  
 応募資格 博士号取得者（含，見込）  
 着任時期 平成6年10月1日  
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，今までの研究概要，推薦書  
 応募締切 平成6年7月30日  
 送付先 〒986 石巻市南境新水戸1  
 石巻専修大学理工学部電子材料工学科主任 山本達夫  
 問合せ先 電子材料工学科 原 健一  
 Tel. (0225)22-7716 Fax. (0225)22-7746

## ○広島修道大学商学部

募集人員 教授，助教授または講師1名  
 担当科目 経済統計学を含む統計学  
 応募資格 博士号取得者（含，見込）またはこれと同等の資格・経歴を有し，かつ全学の教養教育向けの統計学の担当が可能な方  
 着任時期 平成7年4月1日  
 提出書類 履歴書，研究業績リスト（書式あり，ご請求ください），著書・論文（現物かコピー，主要業績は各3部，そのほかについては各1部，ただし著書については各1部），成績証明書，学位取得証明書，健康診断書，推薦書（任意），小論文「大学教育改革に対する抱負」（2000字程度）  
 応募締切 平成6年7月31日  
 送付先 〒731-31 広島市安佐南区沼田町大塚1717  
 広島修道大学人事課人事係気付  
 商学部長 鹿子木幹雄「統計学教員応募」と朱書  
 人事課人事係 Tel. (082)830-1105

## 雑 報



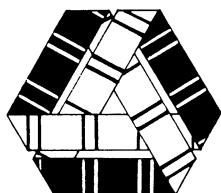
### ○島津科学技術振興財団（平成6年度）研究開発助成

- 助成対象** 科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究を対象とする。ただし、助成対象者は原則として45歳以下とする。
- 助成内容** 上記研究に対し、助成金を交付する。援助金総額 1,800万円、採択件数約15件、1件につき 100万円～250万円。
- 応募方法** 財団所定の研究開発助成申込用紙に必要事項を記入して、当財団に直接申込む。申込締切は9月30日とする。
- 選考審査方法** 当財団に設置する選考委員会が選考し、理事会が審議し決定する。
- 交付方法** 平成7年2月（予定）に開く贈呈式において助成金を交付する。
- 連絡先** （財）島津科学技術振興財団事務局  
〒604 京都市中京区西ノ京下合町11  
Tel. (075)823-3240 Fax. (075)823-3240

### ○平成6年度技術士第1次（技術士補）試験

- 申込期間** 平成6年5月9日（月）～20日（金）（土曜日・日曜日を除く）
- 試験日** 平成6年10月9日（日） 共通科目（10:00～12:00）、専門科目（13:00～16:00）
- 試験地** 札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡
- 受験資格** 年齢・学歴・業務経歴等による制限はありません。
- 問合せ先** 科学技術庁長官指定試験機関（社）日本技術士会 技術士試験センター  
〒105 港区虎ノ門2-8-10 第15森ビル4階 Tel. (03)3591-7110（代）
-

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です(\*:本年既掲載分, \*\* : 昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手90円を同封のうえ、請求ください。  
(国内連絡先が記載されている場合は除く。)

1. 開催日 2. 会場 3. 問合せ先 4. その他

### 国際会議

#### ANLP - 94 - 4th Conf. on Applied Natural Language Processing (014)

October 13-15, 1994  
Stuttgart, Germany  
Paul Jacobs Institute for research in Cognitive Science 3401 Walnut St., Suite 400c, Rm. 420 Philadelphia, PA, 19104-6228  
e-mail: pjacobs@unagi.cis.upenn.edu  
Fax. +1-215-573-2048  
Deadline of paper submission: May 2, 1994

#### KnowRight '95 - Int'l. Congress on Intellectual Property Rights for Specialized Information, Knowledge and New Technologies (015)

August 21-25, 1995  
Vienna, Austria  
W. Grafendorfer Austrian Computer Society Wollzeile 1-3, A-1010 Vienna, Austria  
Tel. +43-1-512 02 35 Fax. +43-1-512 02 35-9  
e-mail: ocg@vm.univie.ac.at  
Deadline of paper submission: January 13, 1995

#### WCCM III - 第3回計算力学世界会議 (016)

1994年8月1日(月)~5日(金)  
海外職業訓練協力センター、幕張メッセ(千葉県美浜区)  
主催: 国際計算力学協会(IACM)日本支部  
問合せ先: (株)アイシーエス企画内 WCCMⅢ担当係  
Tel. (03)3272-7981 Fax. (03)3273-2445

#### CS 1994 Asia-Pacific Conf. "Computing in Chaos" (017)

September 15-18, 1994  
Gold Coast, Australia  
Australian Computer Society PO Box 135 Aspley Qld 4034, Australia  
Tel. +(61)0(7)369 5177 Fax. +(61)0(7)369 5880  
e-mail: acsozcompsoc@uqvax.cc.uq.oz.au

#### TC8AUS IFIP Information Systems Int'l. Working Conf. Business Process Re-Engineering: Information System Opportunities & Challenges (\*\*042)

1. May 8-11, 1994  
2. Gold Coast, Australia  
3. ACS/IFIP TC8 Conf. PO Box 135 Aspley Qld 4034 Australia  
Tel. +(61)0(7)263 7864 Fax. +(61)0(7)263 7020  
e-mail: acstc8conf94@uqvax.cc.uq.oz.au

#### 1st World Conf. for Software Quality(018)

1. 1995年6月20日(火)~23日(金)  
2. サンフランシスコ  
3. 日本科学技術連盟第2事業部 仲谷  
Tel. (03)5379-1222  
4. 締切: 1994年7月1日

### 国内会議

#### 映像×音楽によるインタラクティブ・ライブ・パフォーマンスワークショップ

1. 平成6年5月28日(土)  
2. 京都ドイツ文化センターホール  
3. 主催: KINO VISION, 他  
問合せ先: 京都精華大学美術学部デザイン学科 伊奈 新祐 Tel. (075)702-5782  
4. 参加費: 1,500 円

#### 第6回知能ロボットコンテスト JAPAN '94

1. 1994年6月25日(土)~26日(日)  
2. 仙台市科学館(青葉区台原森林公園)  
3. 東北大学大学院情報科学研究科(機械系)中野研究室  
ロボットコンテスト実行委員会  
Tel. (022)222-1800 (ext. 4151) Fax. (022)216-8157  
4. 応募締切: 1994年5月31日(火)

#### 第10回 ESR 応用計測研究会「イメージング手法の発展と学際領域への応用」

1. 1994年6月17日(金)~18日(土)  
2. 大阪大学基礎工学部シグマホール  
3. ESR 応用計測研究会  
Tel. (06)844-1151 (ext. 4168) Fax. (06)841-4943  
4. 講演申込締切: 1994年3月27日

#### 第53回産業用ロボット利用技術講習会

1. 2. 東京: 1994年4月13日(水)~14日(木)  
電機工業会館(千代田区永田町)  
名古屋: 1994年4月21日(木)~22日(金)  
名古屋市工業研究所(熱田区)  
3. (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel. (03)3434-2919 Fax. (03)3578-1404  
4. 正・賛助会員20,000円, 協賛会員23,000円  
協賛団体会員 25,000円, 一般26,000円

#### 第19回光学シンポジウム

1. 1994年6月9日(木)~10日(金)  
2. 東京大学生産技術研究所(港区六本木)(予定)  
3. 主催: 日本光学会(応用物理学会)  
応募先: コニカ(株)オプト事業部光学研究センター

中野 智史 Tel. (0426)42-0161 Fax. (0426)44-5212

4. 応募締切:1994年2月25日(金)

#### 第5回ロボティクス・自動化システムシンポジウム 第4回ニューラルネットワークシンポジウム

1. 平成6年9月8日(木)~9日(金)
2. 法政大学(東京都千代田区富士見)(予定)
3. (社)計測自動制御学会事務局  
Tel. (03)3814-4121 Fax. (03)3814-4699
4. 講演申込締切:平成6年5月16日(月)

#### Dr.R.W.G.Hunt 来日記念シンポジウム(案)

1. 平成6年7月25日(月)
2. 富士写真フィルム(株)東京本社(港区西麻布)
3. 共催:日本写真学会, 日本色彩学会  
問合せ先:東芝ライテック(株)研究所 一條 隆  
Tel. (0468)62-2073 Fax. (0468)61-2427
4. 参加費:共催会員 1,000円, 協賛会員 2,000円  
非会員 4,000円, 学生 1,000円

#### 第32回生産スケジューリング・シンポジウム'94

1. 平成6年10月11日(火)
2. 青山学院大学総研ビル(東京・渋谷)
3. 共催:(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会他  
発表申込先:青山学院大学理工学部経営工学科 黒田  
e-mail:kuroda@cim-lab.ise.aoyama.ac.jp  
Fax. (03)5384-6516
4. 発表申込締切:平成6年5月31日

#### JUAS ユーザー大会'94「経営革新と情報化」

1. 平成6年5月12日(木)~13日(金)
2. 東京商工会議所(東京・大手町)他
3. (社)日本情報システム・ユーザー協会  
Tel. (03)3249-4101 Fax. (03)3249-4104
4. 発表申込締切:平成6年5月31日

#### ソフトウェアシンポジウム'94

1. 1994年6月15日(水)~17日(金)
2. 金森ホール(北海道函館市末広町)
3. ソフトウェア技術者協会  
Tel. (03)3356-1077 Fax. (03)3356-1072  
e-mail:sea@sea.or.jp
4. 参加費:協賛会員38,000円, 学校関係者25,000円  
一般48,000円, 学生 5,000円

#### 講習会「バーチャルリアリティ」

1. 平成6年6月24日(金)
2. 明治大学百周年記念館
3. 日本ファジィ学会事務局  
Tel. (045) 212-8253 Fax. (045) 212-8256
4. 参加費:会員 20,000円, 学生会員 7,000円,  
非会員 30,000円, 学生一般 10,000円

#### 講習会「信頼性解析・リスク解析へのファジィの応用」

1. 平成6年5月20日(金)
2. 筑波大学大塚校舎
3. 日本ファジィ学会事務局  
Tel. (045) 212-8253 Fax. (045) 212-8256
4. 参加費:会員 18,000円, 学生会員 5,000円,  
非会員 28,000円, 学生一般 8,000円

#### 第13回光波センシング技術研究会

1. 1994年6月1日(水)~2日(木)
2. 川崎市産業振興会館
3. 光波センシング技術研究会事務局  
Tel. & Fax. (03)3466-1899

#### シンポジウム「わが国における情報工学分野の学術水準とその振興策」

1. 1994年6月17日(金)
2. 機械振興会館(東京都港区芝公園)
3. 主催:日本工学会アカデミー情報専門部会  
問合せ先:学術情報センター研究開発部  
安達 淳  
Tel. (03)3942-6959 Fax. (03)5395-7064

### 編集室



・特集記事は難しかったが、これは親しみが持てる、私くらいのレベルの実務家にはありがたい。(重道 潔 さくら銀行)

・今回限りではなく、ぜひ定期的に続けていただきたい。

(西野哲朗 北陸先端大)

...続けていきますので、ご愛読願います。

(編集委員会)

#### 事務局日より

平成5年度の学会活動は、不況感の続く経済情勢のなか、会員の熱意あるボランティア活動により、学会誌、論文誌、研究会、シンポジウムなど、活発に実行され成果をあげることができました。

全国大会は毎回1千件強の発表、参加者も2千名程度、講演論文集約700セットと、会員3万名を擁する学会としては、参加する意義と魅力を再検討、活性化する時ではと考えております。

収支状況は、情報処理関連企業の厳しい状況の影響からか、会員の増加が少なく、広告収入の大減収のほか、各種の収入の減少など、大きな影響を受けていますが、経費の節減などにより、平成5年度はなんとか予算内のやり繰りで決算できる見込みです。

学会誌の広告については、4月号から暫くの期間、事務局編集を

#### 会員の声

・最近の学会誌は最先端の研究成果の解説としてレベルが高く、貴重であると思うが、もう少しやさしい解説や幅の広いものも適宜含まれていれば親しみが持てる。(渋沢 進 茨城大学)

・3月号「素朴な疑問」について...

・それなりに面白いがあまり軽くなり過ぎないように進めていただきたい。(神場知成 NEC)